

仙台市介護保険事業計画策定のための 実態調査報告

— 調査項目ごとの集計結果 —

平成 26 年 1 月

仙台市健康福祉局保険高齢部介護保険課

目 次

I	調査の概要	1
II	調査項目ごとの集計結果	3
1	調査対象者の属性	3
2	在宅サービスの利用状況と満足度について	11
3	在宅サービスの利用者負担額と利用限度額について	17
4	お泊りデイサービスについて	18
5	在宅サービスの今後の利用意向について	21
6	在宅サービスを利用していない方について	22
7	介護保険以外のサービスの利用状況と今後の利用意向について	24
8	今後介護を受けたい場所と施設への入所申し込み状況について	27
9	施設入所者の状況について	29
10	介護サービスに不満があった場合の対応について	33
11	介護サービスの利用者負担について	34
12	介護保険料について	35
13	地域包括ケアシステムの構築について	38
14	認知症対策について	39
15	仙台市の介護保険について	40
16	安否確認について	43
17	災害時要援護者情報登録制度について	45
18	介護者について	47

I 調査の概要

1 調査目的

本調査（以下「要介護者等調査」）は、第6期仙台市介護保険事業計画（計画期間：平成27年度～平成29年度）の策定にあたり、保険給付の将来推計の基礎となる介護サービスの利用状況・利用意向を把握するとともに、負担とサービスのあり方や保険外サービスの利用状況など、介護保険事業を含む本市高齢者施策に関する要介護者等の現状を把握することを目的とする。

2 調査設計

	【要介護者等調査】
調査対象者	平成25年10月末の時点において、仙台市介護保険被保険者資格を有しており、かつ、要介護認定等を受けている人（約39,000人）から無作為抽出した5,000人
調査方法	調査対象者に調査票を郵送し、記入後の調査票を同封の返信用封筒にて返送していただく郵送方式にて実施
調査基準日	平成25年11月1日
調査期間	平成25年11月7日～平成25年11月27日
調査項目	<ul style="list-style-type: none">○調査対象者の属性（問1～11）○在宅サービスの利用状況と満足度について（問12～21）○在宅サービスの利用者負担額と利用限度額について（問22～23）○お泊りデイサービスについて（問24）○在宅サービスの今後の利用意向について（問25）○在宅サービスを利用していない方について（問26～28）○介護保険以外のサービスの利用状況と今後の利用意向について（問29～30）○今後介護を受けたい場所と施設への入所申し込み状況について（問31～34）○施設入所者の状況について（問35～41）○介護サービスに不満があった場合の対応について（問42）○介護サービスの利用者負担について（問43～44）○介護保険料について（問45～49）○地域包括ケアシステムの構築について（問50）○認知症対策について（問51）○仙台市の介護保険について（問52～55）○安否確認について（問56）○災害時要援護者情報登録制度について（問57）○仙台市への意見・要望について（自由記述）（問58）○介護者について（問59～66）

3 回収結果

標本数	5,000件
総回収数	3,000件
有効回収数	2,997件
無効回収数 ※1	3件
有効回収率	59.9%
集計対象数 ※2	2,939件

※1 無効回収数は、白票またはほぼ白票のもの。

※2 有効回収数から、「死亡」や「障害等により回答できない」等を除く。

4 報告書の見方

- (1) グラフのNとは回答数を表すものであり、設問によって異なる場合がある。
- (2) 回答の構成比は百分率で表し、小数点第2位を四捨五入して算出している。従って、単一選択式の質問においては、回答比率を合計しても100%にならないことがある。また、回答者が2つ以上の回答をすることができる複数選択式の設問（本書では【**複数回答**】と表記）においては、各設問の回答数（N）を基数として算出するため、全ての選択肢の比率を合計すると100%を超える場合がある。
- (3) 各設問の回答対象者を、右上に枠囲みで表示している。（前の設問で回答対象者が限定されている場合を除く。）

Ⅱ 調査項目ごとの集計結果

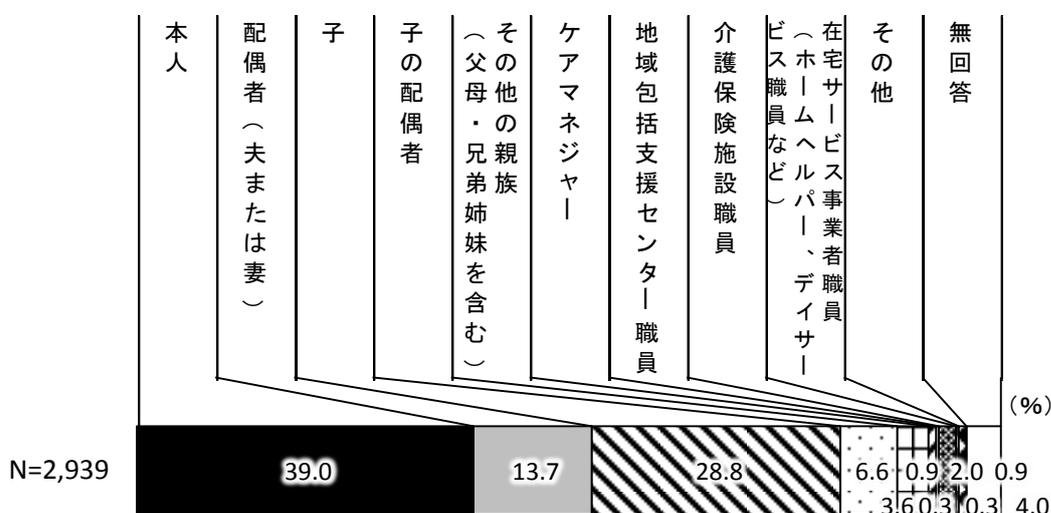
1 調査対象者の属性

(1) 調査票の記入者

対象者全員

問1 この調査票を記入される方は、ご本人からみて、どれにあてはまりますか。ご本人から見た続柄等でお答えください。(あてはまるもの1つに〇)

○調査票の記入者は、「本人」(39.0%)が最も多く、次いで「子」(28.8%)、「配偶者(夫または妻)」(13.7%)となっている。

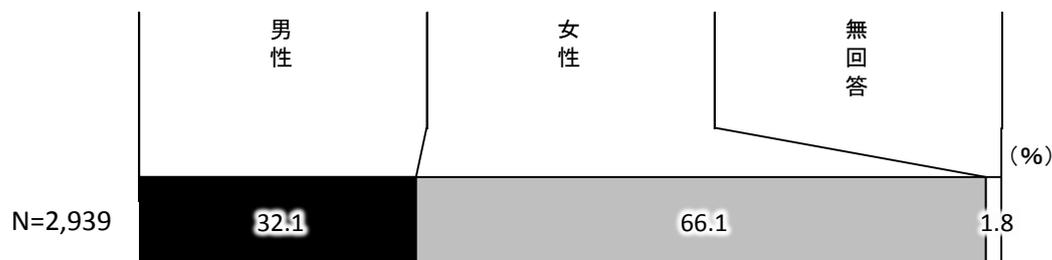


(2) 性別

対象者全員

問2 ご本人の性別をお答えください。(あてはまるもの1つに〇)

○本人の性別は、「女性」が66.1%を占めている。

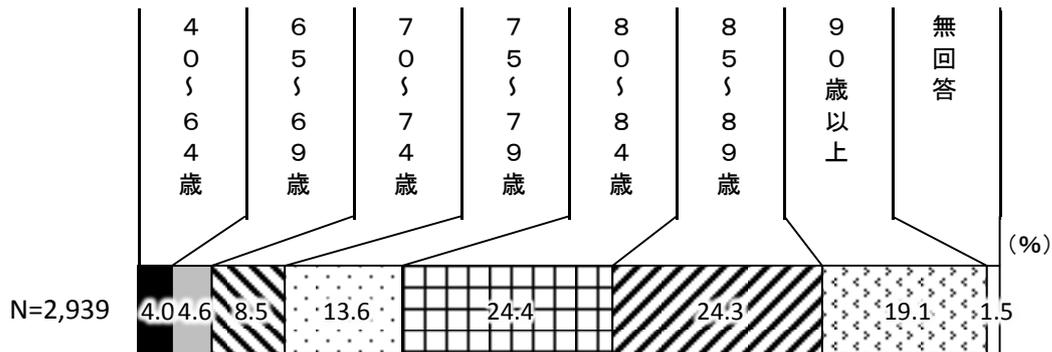


(3) 年齢

対象者全員

問3 ご本人の年齢をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

○本人の年齢は、「80～84歳」が24.4%で最も多く、次いで「85～89歳」(24.3%)、「90歳以上」(19.1%)となっており、後期高齢者(75歳以上)が約8割を占めている。

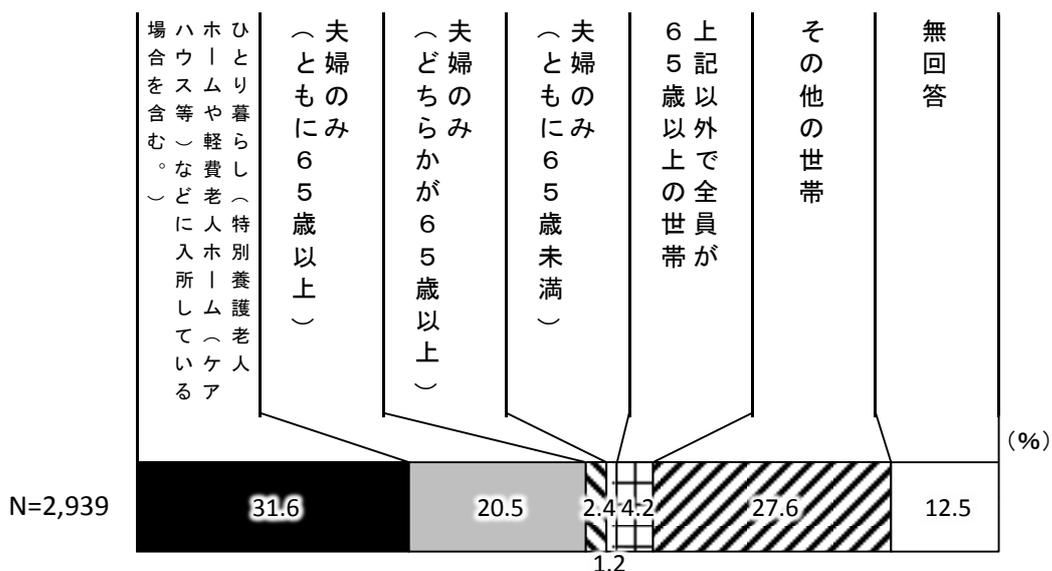


(4) 世帯の状況

対象者全員

問4 世帯の状況は次のどれですか。(あてはまるもの1つに○)

○世帯の状況は、「ひとり暮らし(特別養護老人ホームや軽費老人ホーム(ケアハウス等)などに入所している場合を含む。)」が31.6%で最も多く、次いで「その他の世帯」(27.6%)となっている。なお、65歳以上のみの世帯の割合は56.3%となっている。

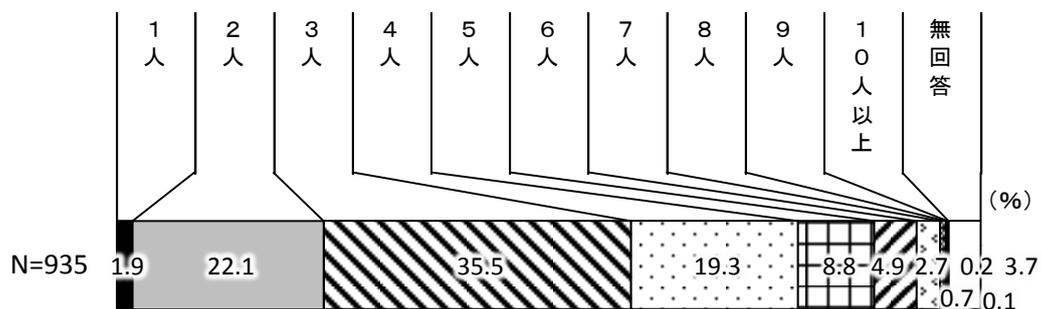


(5) 世帯全員の人数

【問4で「上記以外で全員が65歳以上の世帯」「その他の世帯」と回答した方のみ回答】

世帯全員の人数をお書きください _____ 人

○世帯の状況で「上記以外で全員が65歳以上の世帯」「その他の世帯」と回答した方に、世帯全員の人数をたずねたところ、「3人」が35.5%で最も多く、次いで「2人」(22.1%)、「4人」(19.3%)となっている。



(6) 現在居住している地域 (中学校区)

対象者全員

問5 現在お住まいの中学校区をお答えください。(あてはまるもの1つに〇)

(お近くの中学校をお選びください。わからない場合は町名を記入してください。)

○現在居住している中学校区は、「長町中」が3.4%で最も多く、次いで「宮城野中」(3.0%)、「八木山中」(2.9%)、「台原中」(2.8%)となっている。

5区では、「青葉区」28.4%、「宮城野区」16.7%、「若林区」10.4%、「太白区」22.6%、「泉区」18.2%となっている。

N=2,939

〈 青 葉 区 〉 28.4

1. 五橋中	2.5	5. 北仙台中	2.6	9. 三条中	1.9	13. 中山中	1.7
2. 大沢中	1.9	6. 広陵中	0.5	10. 第一中	2.5	14. 広瀬中	2.0
3. 折立中	0.8	7. 五城中	2.0	11. 第二中	1.6	15. 南吉成中	1.0
4. 上杉山中	1.9	8. 桜丘中	1.8	12. 台原中	2.8	16. 吉成中	0.8

〈 宮 城 野 区 〉 16.7

17. 岩切中	1.6	20. 田子中	0.8	23. 中野中	1.5	26. 宮城野中	3.0
18. 幸町中	1.2	21. 鶴谷中	2.1	24. 西山中	2.2		
19. 高砂中	1.4	22. 東華中	1.4	25. 東仙台中	1.4		

〈 若 林 区 〉 10.4

27. 沖野中	1.6	29. 七郷中	1.0	31. 南小泉中	2.6
28. 蒲町中	1.5	30. 八軒中	2.4	32. 六郷中	1.3

〈 太 白 区 〉 22.6

33. 秋保中	0.6	37. 富沢中	1.9	41. 人来田中	0.7	45. 柳生中	0.8
34. 愛宕中	1.3	38. 中田中	1.6	42. 袋原中	2.1	46. 山田中	1.6
35. 生出中	0.5	39. 長町中	3.4	43. 茂庭台中	0.6		
36. 郡山中	2.5	40. 西多賀中	2.1	44. 八木山中	2.9		

〈 泉 区 〉 18.2

47. 加茂中	1.5	52. 住吉台中	0.4	57. 七北田中	1.2	62. 八乙女中	1.9
48. 向陽台中	1.5	53. 高森中	0.8	58. 南光台中	1.7	63. 館中	0.9
49. 将監中	1.4	54. 長命ヶ丘中	0.9	59. 南光台東中	0.6		
50. 将監東中	1.2	55. 鶴が丘中	1.3	60. 根白石中	1.0		
51. 松陵中	0.5	56. 寺岡中	0.6	61. 南中山中	0.8		

〈わからない方は町名を記入してください 例：青葉区国分町3丁目〉

64. わからない()	区		1.8
--------------	---	--	-----

無回答

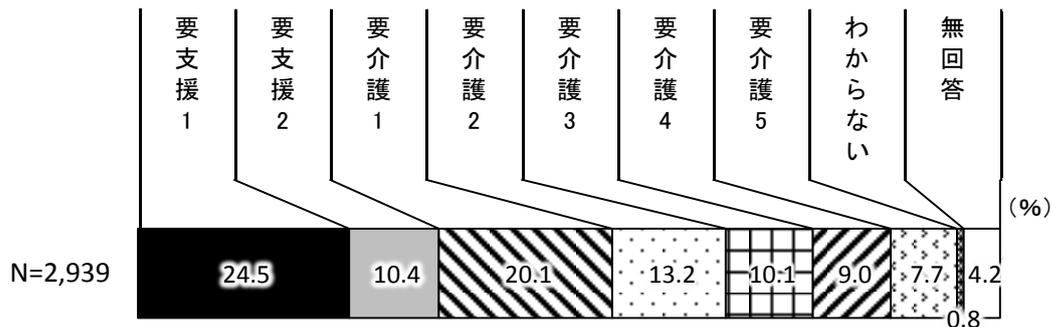
1.8

(7) 要介護度

対象者全員

問6 現在の要介護度は次のどれですか。(あてはまるもの1つに○)

○要介護度は、「要支援1」が24.5%で最も多く、以下「要介護1」(20.1%)、「要介護2」(13.2%)と続いている。

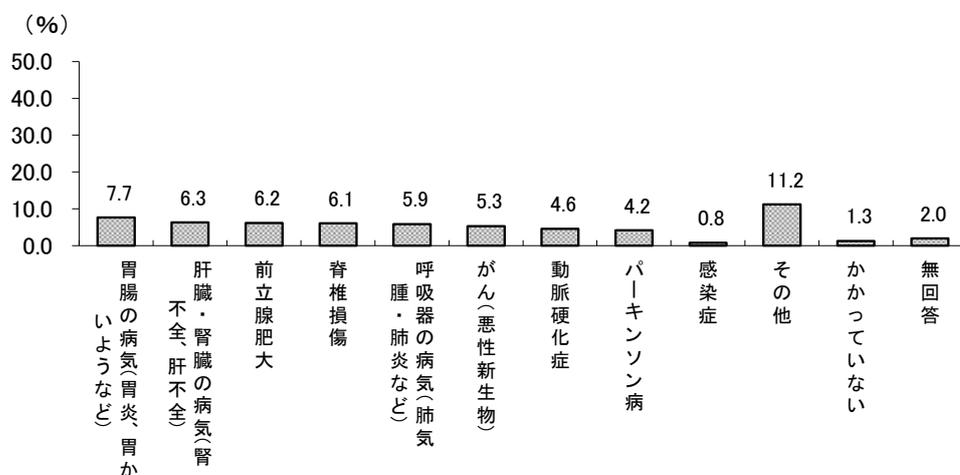
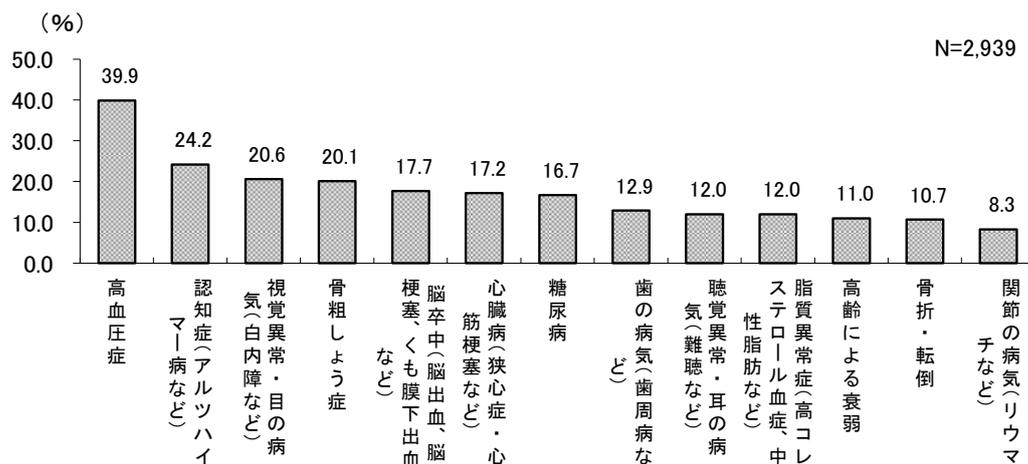


(8) 傷病の状況【複数回答】

対象者全員

問7 現在、次のような何らかの傷病にかかっていますか。(あてはまるものすべてに○)

○傷病の状況は、「高血圧症」が 39.9%で最も多く、以下「認知症（アルツハイマー病など）」（24.2%）、「視覚異常・目の病気（白内障など）」（20.6%）、「骨粗しょう症」（20.1%）と続いている。

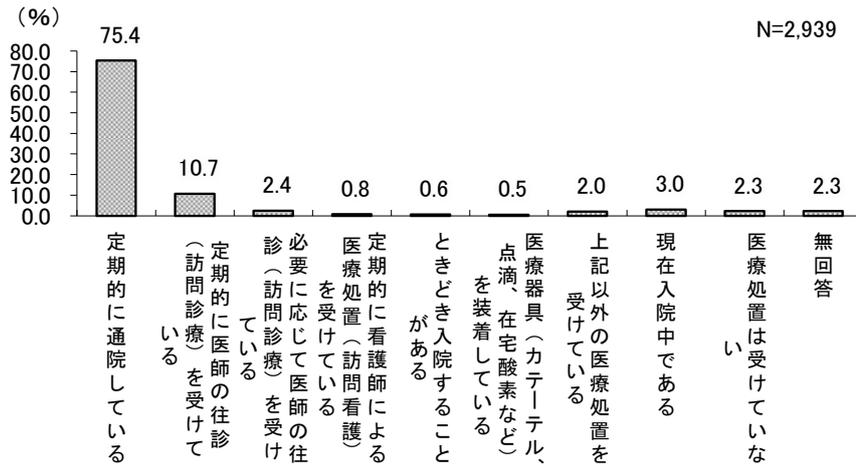


(9) 疾病に対する医療処置の状況【複数回答】

【問7で傷病に「かかっていない」と回答した方以外の方のみ回答】

問8 現在かかっている傷病で、次のような医療を受けていますか。(あてはまるものすべてに○)

○疾病に対する医療処置の状況は、「定期的に通院している」が75.4%で最も多く、次いで「定期的に医師の往診（訪問診療）を受けている」（10.7%）となっている。

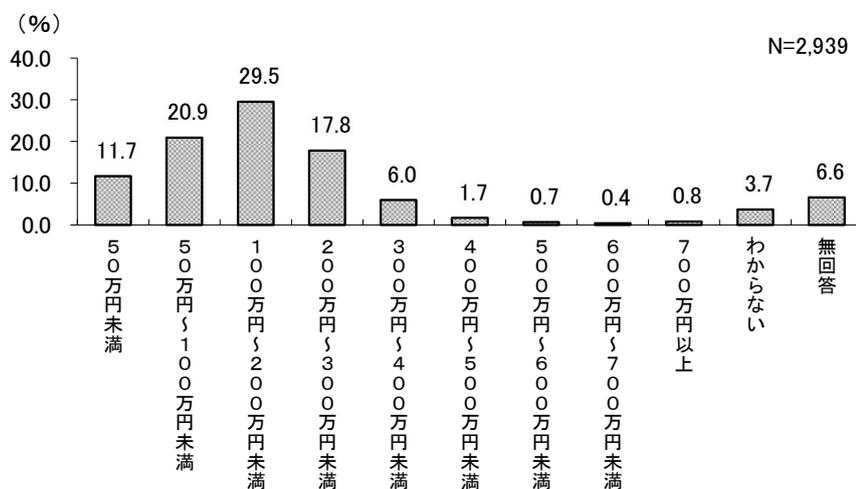


(10) 本人の年間総収入額

対象者全員

問9 ご本人の年間総収入（年金、仕送りなども含みます。）の額はおよそどれくらいですか。（あてはまるもの一つに○）

○本人の年間総収入額は、「100万円～200万円未満」が29.5%で最も多く、次いで「50万円～100万円未満」（20.9%）、「200万円～300万円未満」（17.8%）となっている。

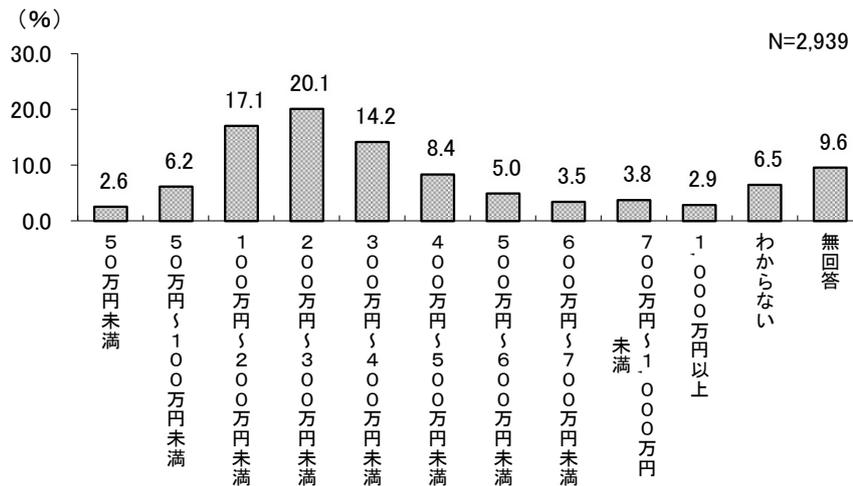


(11) 世帯の年間総収入額

対象者全員

問10 ご本人も含めた世帯全員の年間総収入（年金、仕送りなども含みます。）の合計額はおおよそどれくらいですか。（あてはまるもの1つに○）

○本人も含めた世帯の年間総収入額は、「200万円～300万円未満」が20.1%で最も多く、次いで「100万円～200万円未満」（17.1%）、「300万円～400万円未満」（14.2%）となっている。

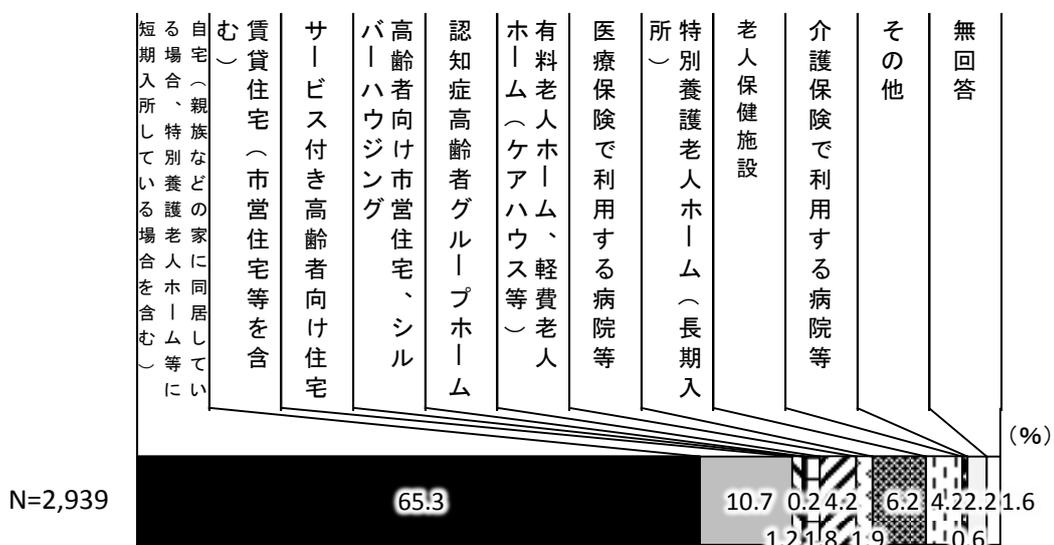


(12) 現在の生活場所

対象者全員

問11 ご本人は、現在どこで生活していますか。（あてはまるもの1つに○）

○現在の生活場所は、「自宅（親族などの家に同居している場合、特別養護老人ホーム等に短期入所している場合を含む）」（65.3%）が全体の約3分の2を占めている。



2 在宅サービスの利用状況と満足度について

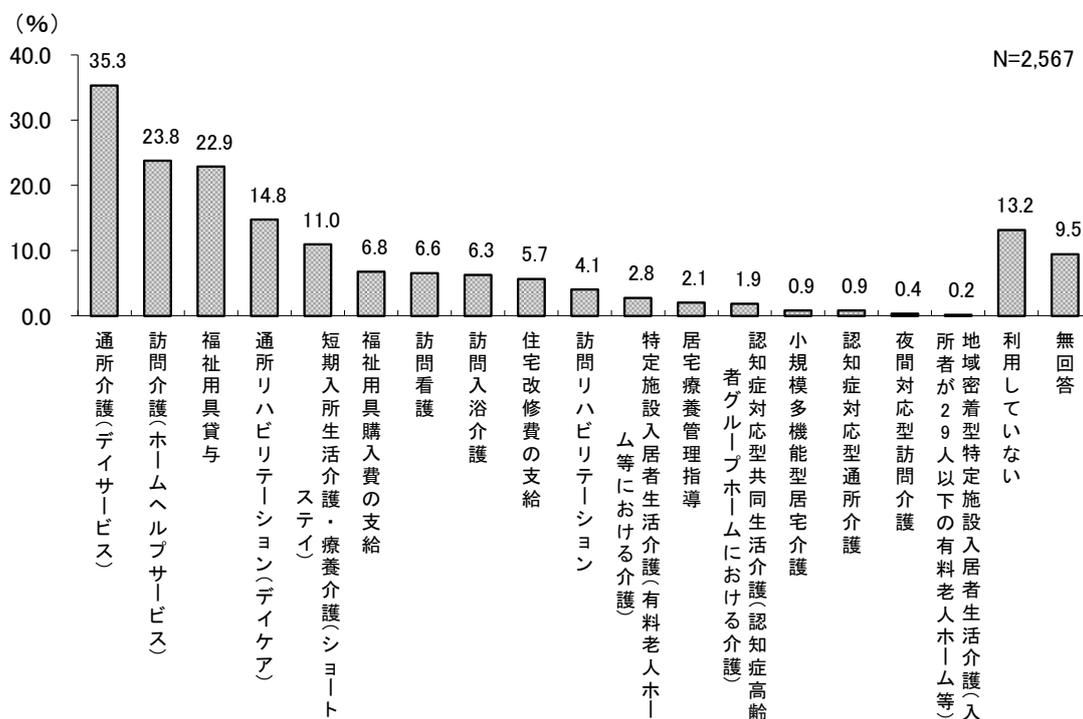
(1) 現在利用している在宅サービスの種類【複数回答】

在宅者等

【問11で「自宅」「賃貸住宅」「サービス付き高齢者向け住宅」「高齢者向け市営住宅、シルバーハウジング」「認知症高齢者グループホーム」「有料老人ホーム、軽費老人ホーム」「医療保険で利用する病院等」等と回答した方のみ回答】

問12 現在、介護保険のどの在宅サービスを利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

○現在利用している在宅サービスの種類は、「通所介護(デイサービス)」が35.3%で最も多く、次いで「訪問介護(ホームヘルプサービス)」(23.8%)、「福祉用具貸与」(22.9%)となっている。一方、「利用していない」人は13.2%である。

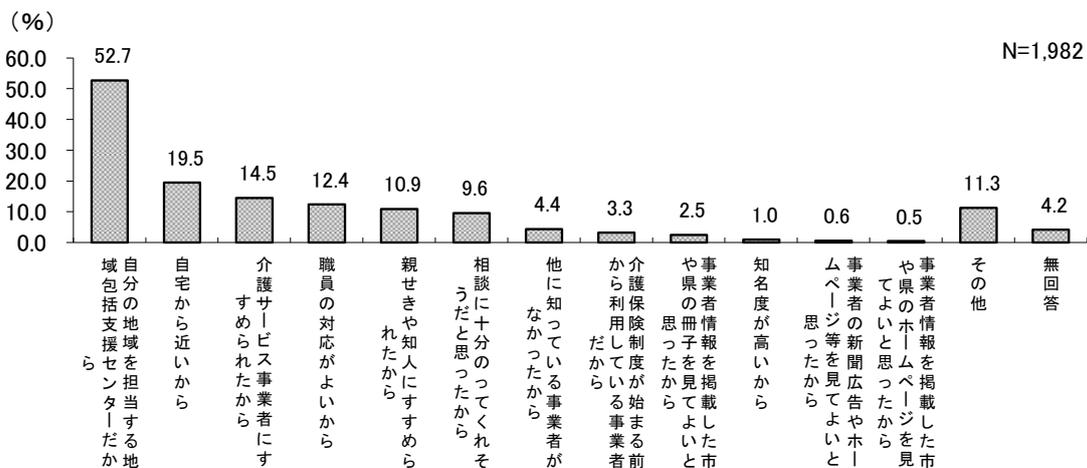


(2) ケアマネジャー（居宅介護支援事業者／地域包括支援センター）の選択理由【複数回答】

在宅サービス利用者

問 13 現在利用しているケアマネジャー（居宅介護支援事業者／地域包括支援センター）を選んだ理由は次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）

○現在利用しているケアマネジャー（居宅介護支援事業者／地域包括支援センター）を選んだ理由は、「自分の地域を担当する地域包括支援センター」（52.7%）が最も多く、以下「自宅から近いから」（19.5%）、「介護サービス事業者にすすめられたから」（14.5%）、「職員の対応がよいから」（12.4%）と続いている。



(3) ケアマネジャーや地域包括支援センターに対する満足度

在宅サービス利用者

問 14 ケアマネジャーや地域包括支援センターのサービス※に満足していますか。（あてはまるもの1つに○）

※介護される方やご家族の状況や希望を踏まえて、適切な在宅サービスが利用できるように、「ケアプラン（介護サービス計画）」を作成し、市やサービス事業者との連絡調整を行うサービスのことです。

○ケアマネジャーや地域包括支援センターのサービスに対する満足度は、「満足」（57.5%）と「やや満足」（26.2%）を合わせて、約8割が《満足している》と回答している。

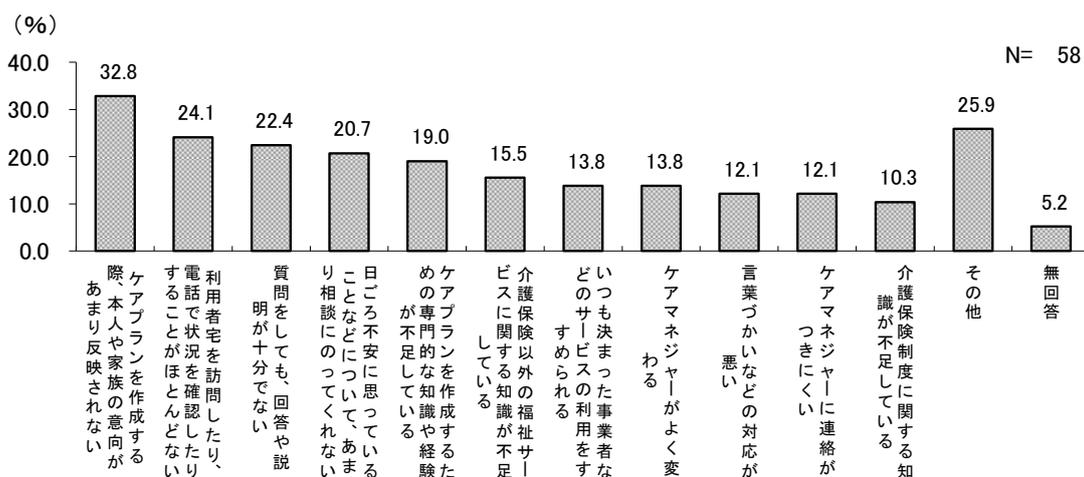


(4) ケアマネジャーや地域包括支援センターに対して不満な点【複数回答】

【問14で「不満」「やや不満」と回答した方のみ回答】

問15 どのようなことに不満がありますか。(あてはまるものすべてに○)

○ケアマネジャーや地域包括支援センターに対して不満な点は、「ケアプランを作成する際、本人や家族の意向があまり反映されない」(32.8%)が最も多く、次いで「利用者宅を訪問したり、電話で状況を確認したりすることがほとんどない」(24.1%)となっている。



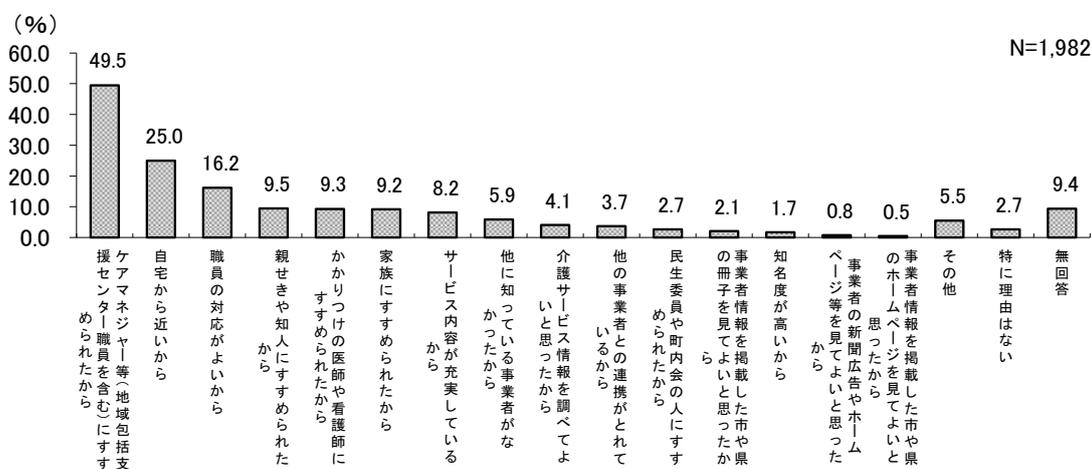
(5) 現在利用している在宅サービスの選択理由【複数回答】

在宅サービス利用者

問16 現在利用している在宅サービス事業者を選んだ理由は次のうちどれですか。

(あてはまるものすべてに○)

○現在利用している在宅サービスを選んだ理由は、「ケアマネジャー等（地域包括支援センター職員を含む）にすすめられたから」が49.5%で最も多く、次いで「自宅から近いから」(25.0%)、「職員の対応がよいから」(16.2%)となっている。

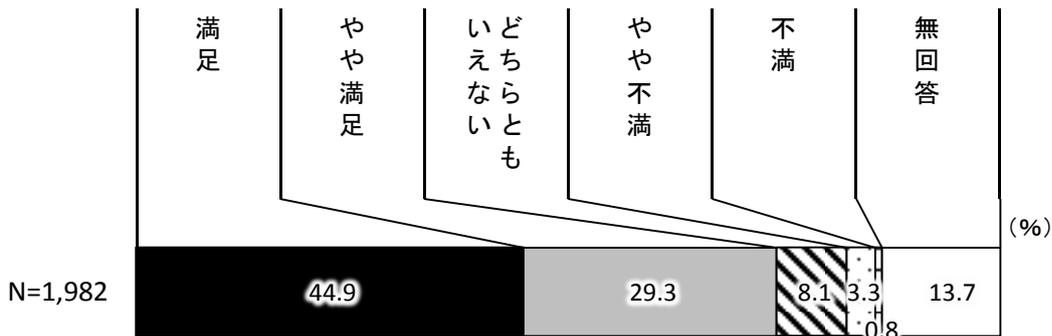


(6) 在宅サービスの質や内容に対する満足度

在宅サービス利用者

問17 現在利用している在宅サービスの質や内容に満足していますか。(あてはまるもの一つに〇)

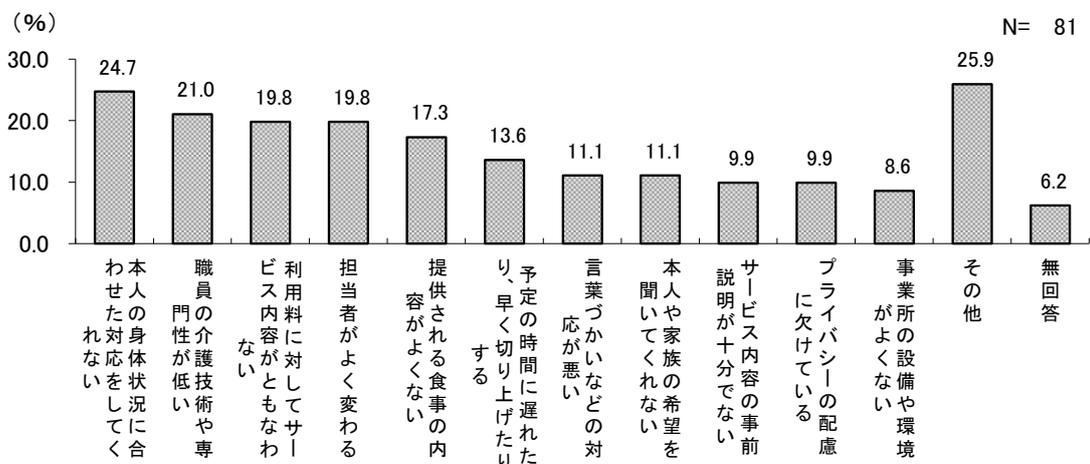
○現在利用している在宅サービスの質や内容に対する満足度は、「満足」(44.9%)、「やや満足」(29.3%)を合わせると、「満足」が全体の約4分の3を占めている。一方、「不満」(0.8%)、「やや不満」(3.3%)を合わせると、「不満」が5%未満となっている。



(7) 在宅サービスの質や内容に対して不満な点【複数回答】

【問17で「不満」「やや不満」と回答した方のみ回答】
問18 どのようなことに不満がありますか。(あてはまるものすべてに〇)

○在宅サービスの質や内容に対して不満な点は、「本人の身体状況に合わせた対応をしてくれない」が24.7%で最も多く、次いで、「職員の介護技術や専門性が低い」(21.0%)、「利用料に対してサービス内容がともなわない」(19.8%)となっている。
また、「その他」が25.9%と多く、その内容としては、「サービスを受ける時間が短い」「希望時間と合わない」などが挙げられている。

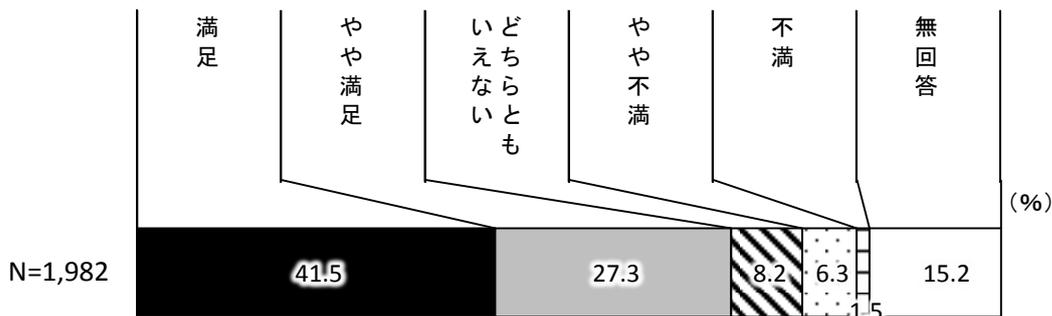


(8) 在宅サービスの量に対する満足度

在宅サービス利用者

問 19 現在利用している在宅サービスの量(回数、1回あたりの時間など)に満足していますか。
(あてはまるもの一つに○)

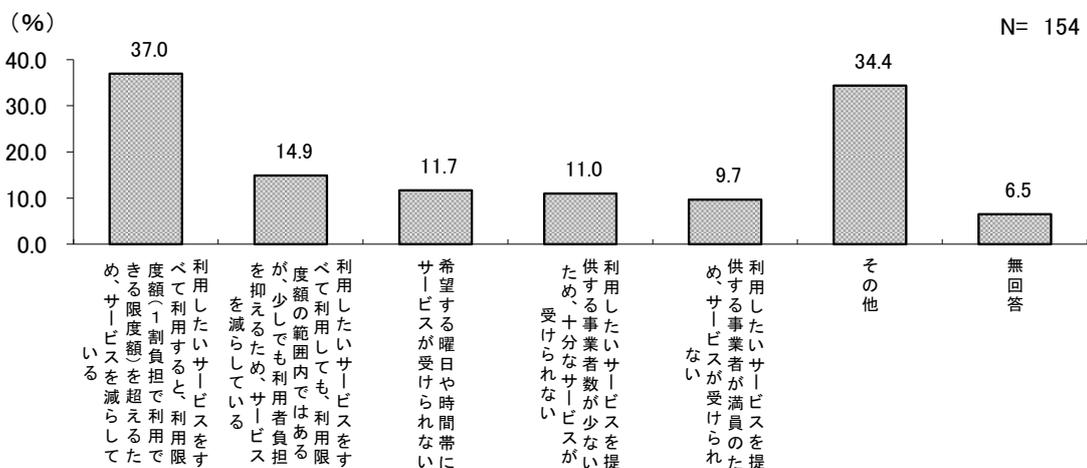
○現在利用している在宅サービスの量に対する満足度は、「満足」(41.5%)、「やや満足」(27.3%)を合わせた《満足している》との回答が約7割となっている。



(9) 在宅サービスの量に対して不満な点【複数回答】

【問 19 で「不満」「やや不満」と回答した方のみ回答】
問 20 どのようなことに不満がありますか。(あてはまるものすべてに○)

○在宅サービスの量に対して不満な点は、「利用したいサービスをすべて利用すると、利用限度額(1割負担で利用できる限度額)を超えるため、サービスを減らしている」(37.0%)が最も多く、以下「利用したいサービスをすべて利用しても、利用限度額の範囲内ではあるが、少しでも利用者負担を抑えるため、サービスを減らしている」(14.9%)、「希望する曜日や時間帯にサービスが受けられない」(11.7%)となっている。

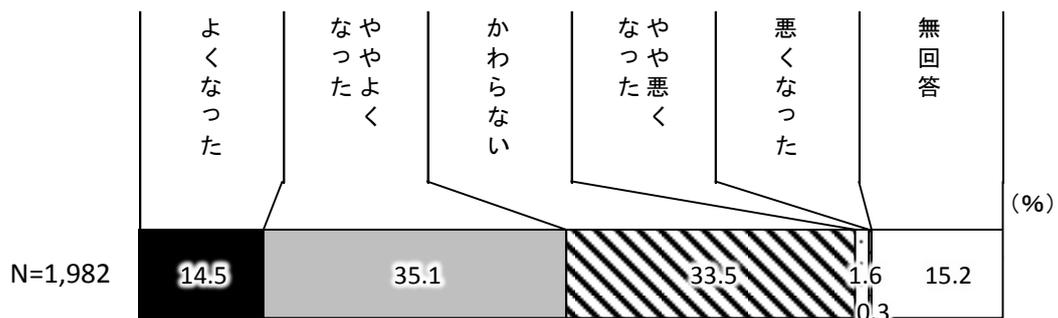


(10) 在宅サービス利用後の体の状態 (具合)

在宅サービス利用者

問 21 在宅サービスを利用したことにより、からだの状態 (具合) はどのように変わりましたか。
(あてはまるもの1つに〇)

○在宅サービス利用後の体の状態は、「よくなった」(14.5%)、「ややよくなった」(35.1%)を合わせると、「よくなった」との回答が約半数を占めている。また、「かわらない」が33.5%となっている。



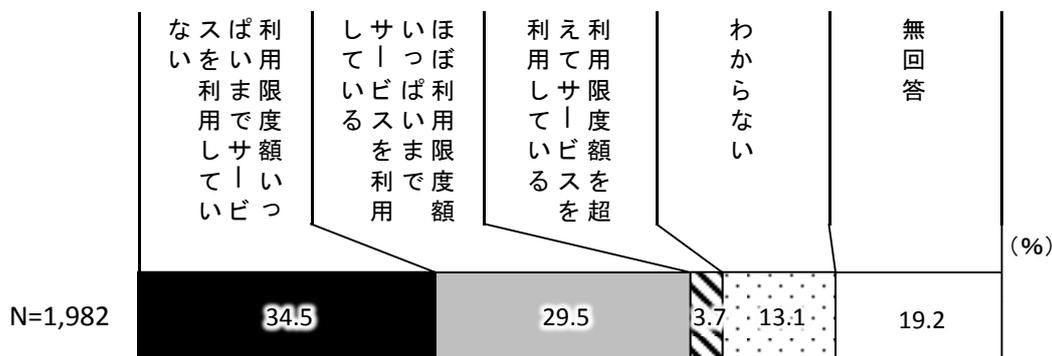
3 在宅サービスの利用者負担額と利用限度額について

(1) 利用限度額に対する在宅サービスの利用量

在宅サービス利用者

問 22 現在、利用限度額（1割負担でサービスを受けられる限度額）までサービスを利用していますか。（あてはまるもの1つに○）

○利用限度額に対する在宅サービスの利用量は、「利用限度額いっぱいまでサービスを利用していない」（34.5%）が最も多く、次いで「ほぼ利用限度額いっぱいまでサービスを利用している」（29.5%）となっている。



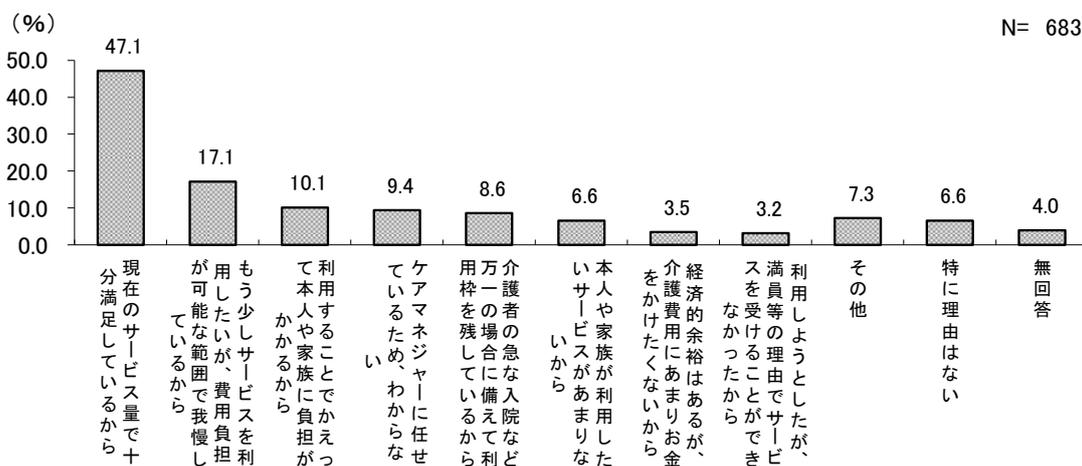
(2) 利用限度額まで在宅サービスを利用していない理由【複数回答】

【問 22 で「利用限度額いっぱいまでサービスを利用していない」と回答した方のみ回答】

問 23 利用限度額いっぱいまでサービスを利用していない理由は何ですか。

（あてはまるものすべてに○）

○利用限度額まで在宅サービスを利用していない理由は、「現在のサービス量で十分満足しているから」（47.1%）が最も多く、次いで「もう少しサービスを利用したいが、費用負担が可能な範囲で我慢しているから」（17.1%）となっている。



4 お泊りデイサービスについて

※「お泊りデイサービス」とは、通い慣れたデイサービスの設備やスタッフにより、保険外でショートステイなどのサービスを行うもの。
 ただし、介護保険外のサービスのため行政の規制等はなく、また費用は全額自己負担となる。

(1) お泊りデイサービスの利用の有無

在宅サービス利用者

問24 いわゆる「お泊りデイサービス」（以下「お泊りデイ」）について伺います。

(1) お泊りデイをどの程度利用していますか。（あてはまるもの1つに○）

○お泊りデイサービスの利用の有無は、「利用していない」が74.1%、「利用している」が7.6%となっている。

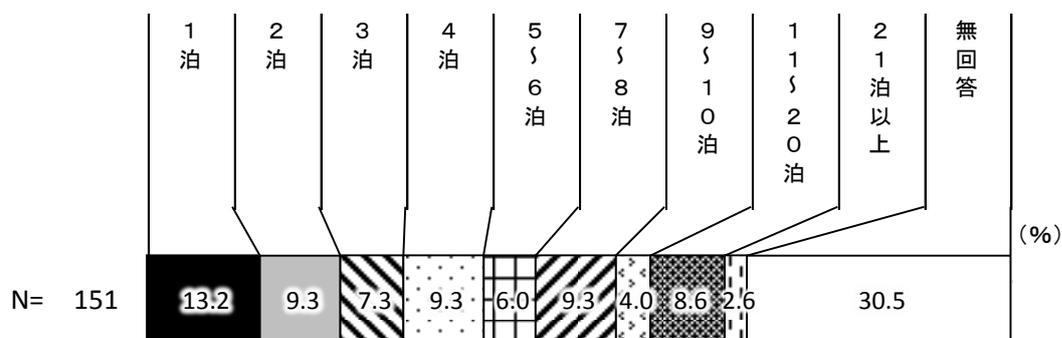


(2) お泊りデイサービスの月あたりの平均利用日数

【問24(1)で「利用している」と回答した方のみ回答】

月のあたりの平均利用日数をお書きください 月 _____ 日

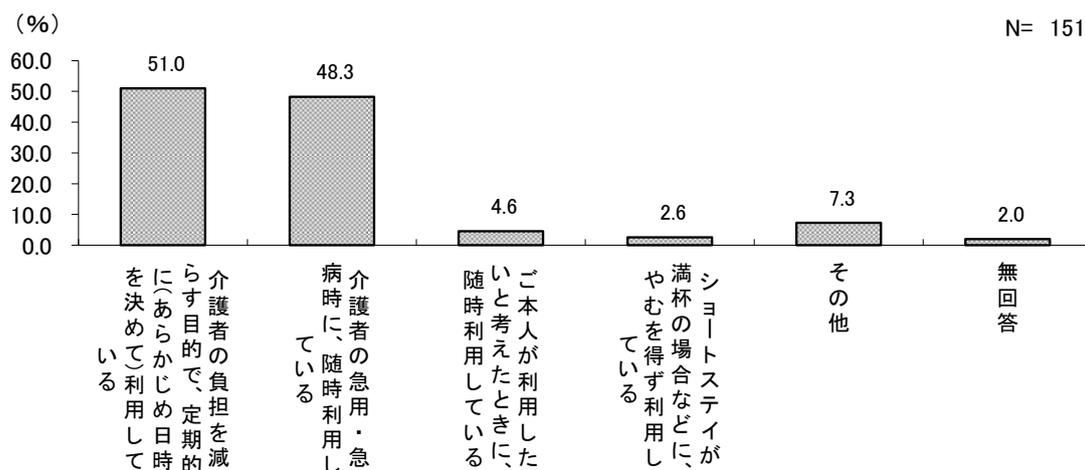
○お泊りデイサービスを「利用している」と回答した方に月あたりの平均利用日数をたずねたところ、「1泊」(13.2%)が最も多く、次いで「2泊」(9.3%)、「4泊」(9.3%)、「7～8泊」(9.3%)となっている。



(3) お泊りデイサービスを利用する状況【複数回答】

問 24(2) お泊りデイをどのような場合に利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

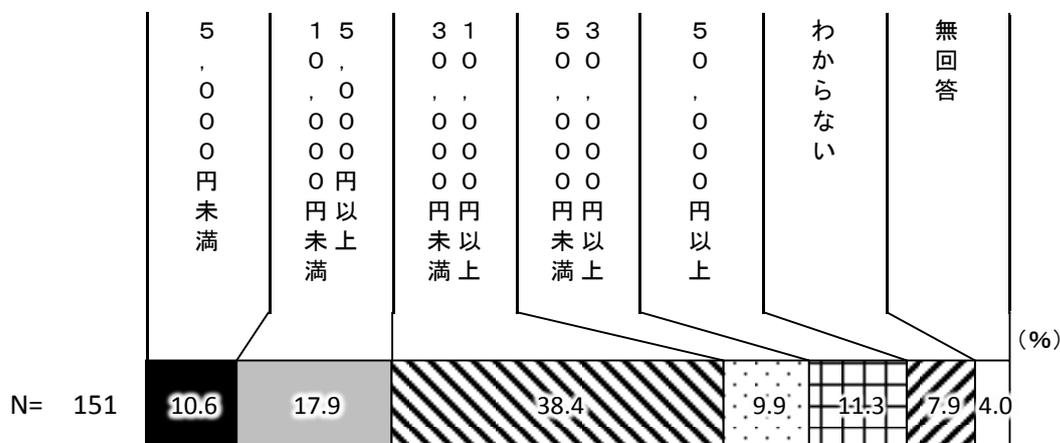
○お泊りデイサービスをどのような場合に利用しているかをたずねたところ、「介護者の負担を減らす目的で、定期的に（あらかじめ日時を決めて）利用している」（51.0%）が最も多く、次いで「介護者の急用・急病時に、随時利用している」（48.3%）となっている。



(4) お泊りデイサービスの月あたりの平均利用金額

問 24(3) お泊りデイの月あたりの平均利用金額（食費等込みの総額）はいくらですか。(あてはまるもの一つに○)

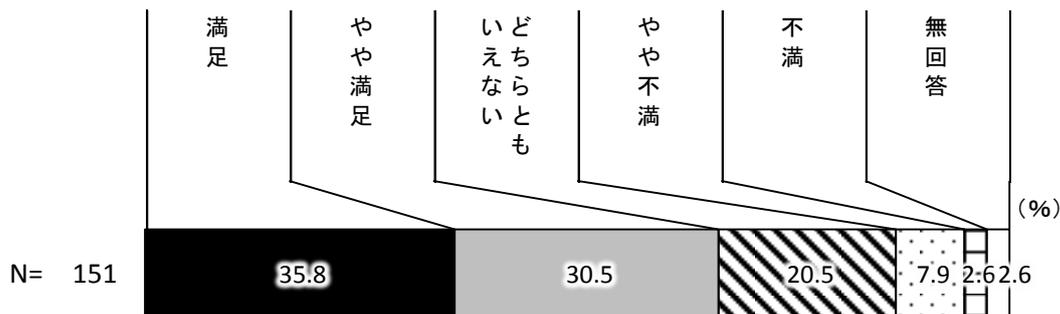
○お泊りデイサービスの月あたりの平均利用金額は、「10,000円以上 30,000円未満」（38.4%）が最も多く、次いで「5,000円以上 10,000円未満」（17.9%）、「50,000円以上」（11.3%）となっている。



(5) お泊りデイサービスの内容に対する満足度

問 24(4) お泊りデイのサービス内容に満足していますか。(あてはまるもの1つに○)

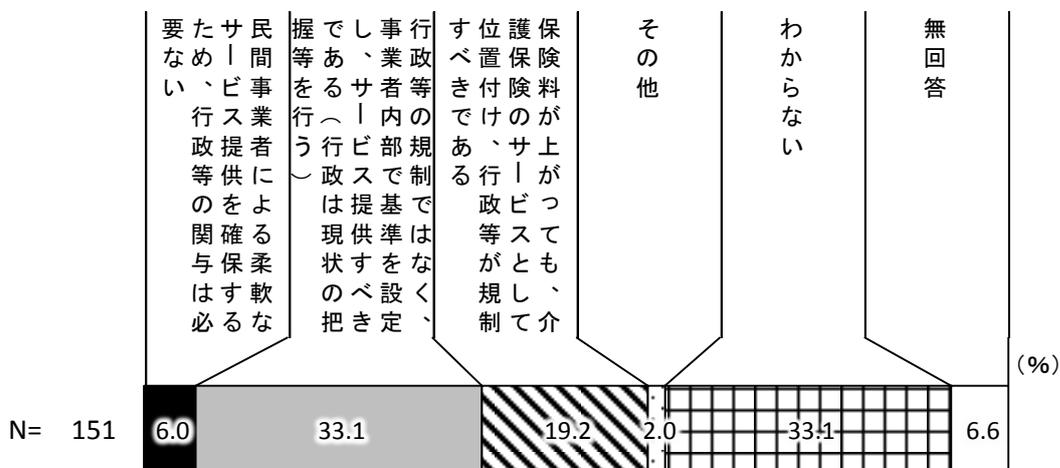
○お泊りデイサービスの内容に対する満足度は、「満足」(35.8%)、「やや満足」(30.5%)を合わせると、《満足》が全体の約3分の2を占めている。一方、「不満」(2.6%)、「やや不満」(7.9%)を合わせると、《不満》が約1割となっている。



(6) お泊りデイサービスに対する行政等の関与の必要性について

問 24(5) お泊りデイは、人員、設備、運営に関する行政等の規制がなく、サービス内容が事業者任せにされていますが、この点をどう思いますか。(あてはまるもの1つに○)

○お泊りデイサービスに対する行政等の関与の必要性については、「行政等の規制ではなく、事業者内部で基準を設定し、サービス提供すべきである(行政は現状の把握等を行う)」が33.1%、「保険料が上がっても、介護保険のサービスとして位置付け、行政等が規制すべきである」が19.2%となっている。また、「わからない」は33.1%となっている。



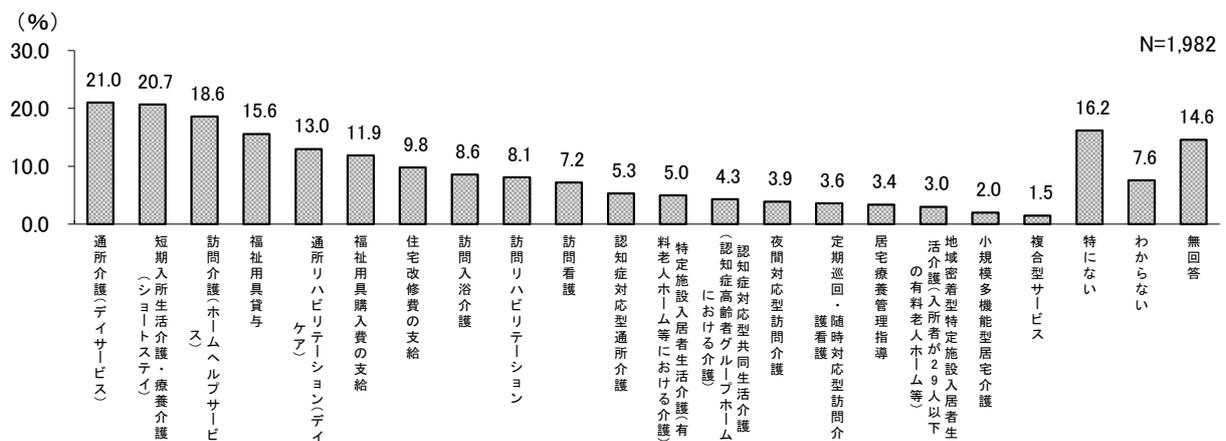
5 在宅サービスの今後の利用意向について

(1) 今後利用したい、増やしたいと思う在宅サービス【複数回答】 在宅サービス利用者

問 25 今後利用したい、あるいは増やしたいと思う在宅サービスをお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

○今後利用したい、あるいは増やしたいと思う在宅サービスは、「通所介護（デイサービス）」(21.0%) が最も多く、以下「短期入所生活介護・療養介護（ショートステイ）」(20.7%)、「訪問介護（ホームヘルプサービス）」(18.6%)、「福祉用具貸与」(15.6%)、「通所リハビリテーション（デイケア）」(13.0%) と続いている。なお、「特にない」は 16.2% となっている。



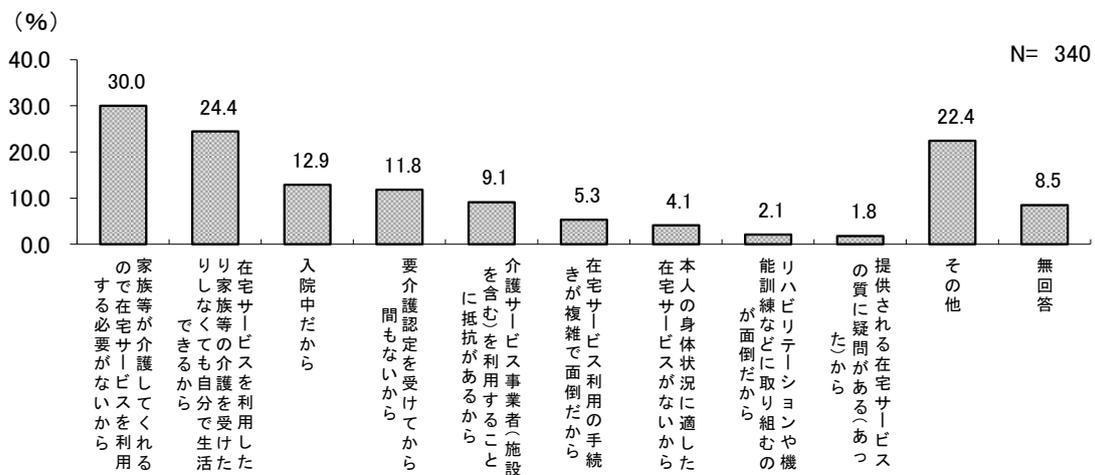
6 在宅サービスを利用していない方について

(1) 在宅サービスを利用していない理由【複数回答】

在宅サービス未利用者

問 26 在宅サービスを利用していないのはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)

○在宅サービスを利用していない理由は、「家族等が介護してくれるので在宅サービスを利用する必要がないから」(30.0%)が最も多く、次いで「在宅サービスを利用したり家族等の介護を受けたりしなくても自分で生活できるから」(24.4%)、「入院中だから」(12.9%)となっている。

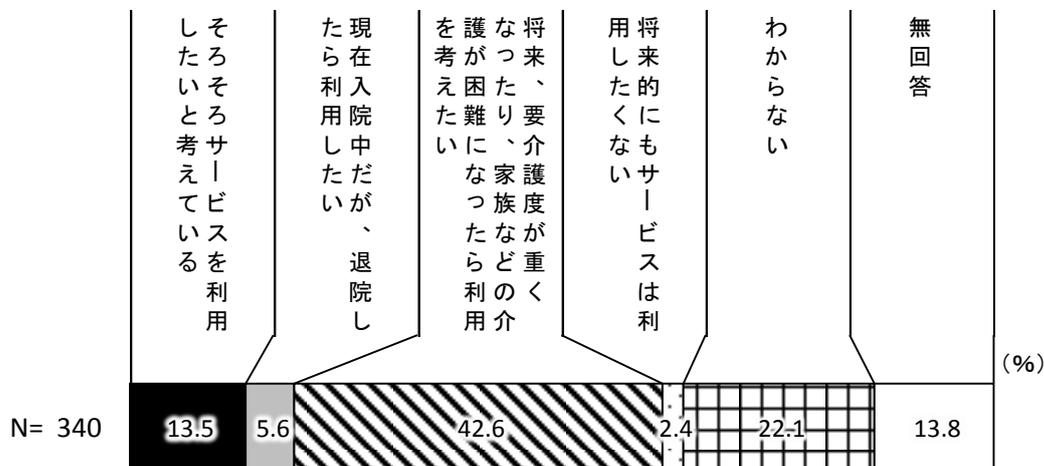


(2) 今後の在宅サービスの利用予定

在宅サービス未利用者

問 27 今後の在宅サービスの利用予定は次のうちどれですか。(あてはまるもの1つに○)

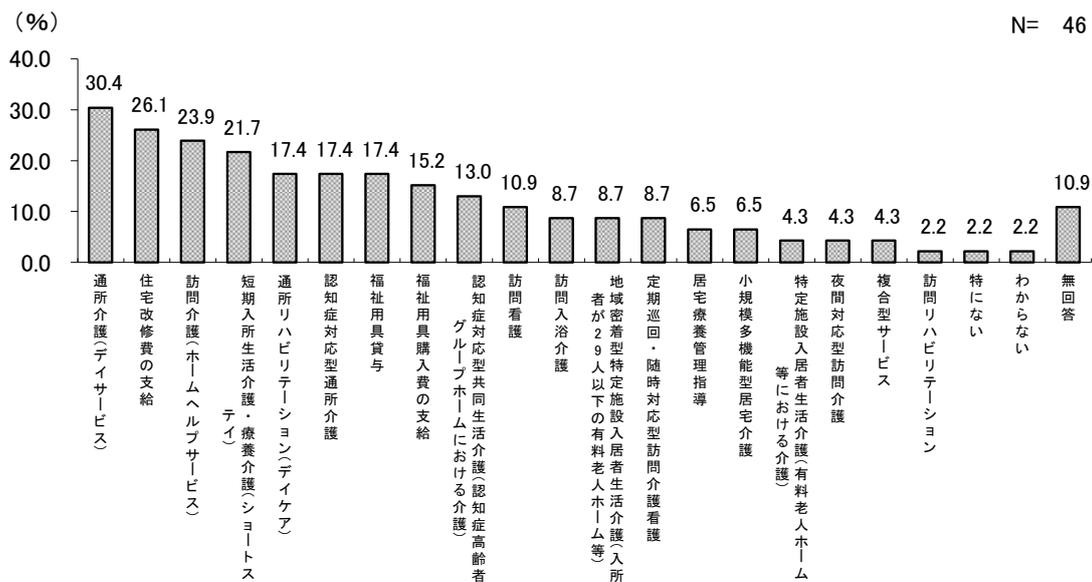
○今後の在宅サービスの利用予定は、「将来、要介護度が重くなったり、家族などの介護が困難になったら利用を考えたい」が42.6%で最も多くなっている。



(3) 今後利用したいと思う在宅サービス【複数回答】

問 28 今後利用したいと思う在宅サービスをお答えください。(あてはまるものすべてに○)

○今後利用したいと思う在宅サービスは、「通所介護（デイサービス）」(30.4%) が最も多く、次いで「住宅改修費の支給」(26.1%)、「訪問介護（ホームヘルプサービス）」(23.9%) となっている。



7 介護保険以外のサービスの利用状況と今後の利用意向について

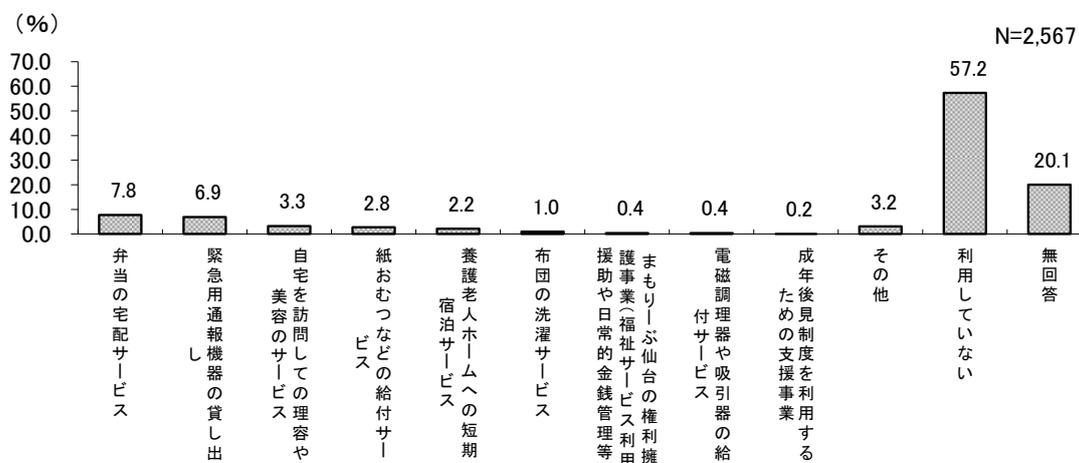
(1) 高齢者福祉サービスの利用状況【複数回答】

在宅者等

問 29 介護保険以外の仙台市の高齢者福祉サービスの利用状況と利用意向についてお聞きます。

(1) 現在利用しているサービスはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

○現在利用している高齢者福祉サービスは、「弁当の宅配サービス」(7.8%)が最も多く、次いで「緊急用通報機器の貸し出し」(6.9%)となっている。一方、「利用していない」と回答した人は57.2%と半数を超えている。

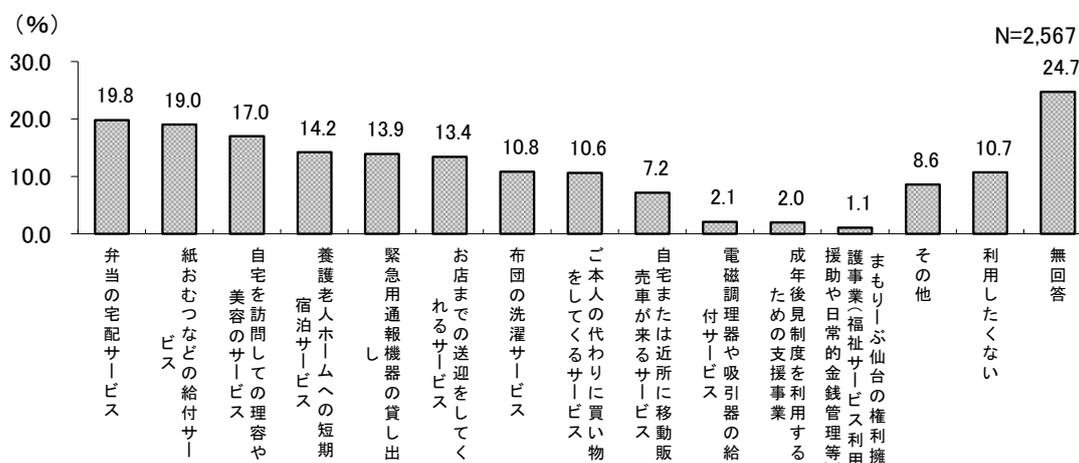


(2) 高齢者福祉サービスの今後の利用意向【複数回答】

在宅者等

問 29 (2) 今後利用したい(現在利用していて、今後も引き続き利用したい場合を含む。)と思うサービスはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

○今後利用したい高齢者福祉サービスは、「弁当の宅配サービス」が19.8%で最も多く、次いで「紙おむつなどの給付サービス」(19.0%)となっている。



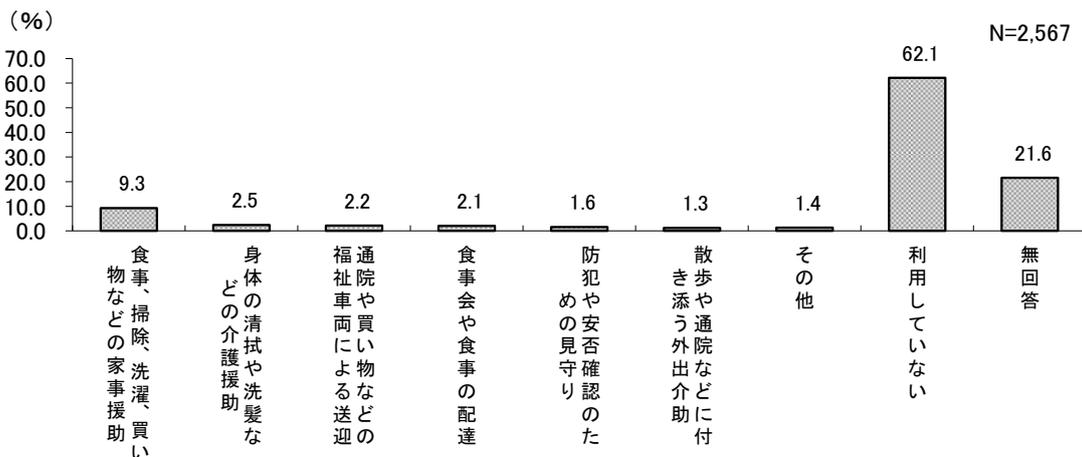
(3) 地域、NPOやボランティアによるサービスの利用状況【複数回答】

在宅者等

問 30 ご近所やお住まいの地域、NPOやボランティアの方々によるサービス（介護保険のサービスは除く。）の利用状況と利用意向についてお聞きします。

(1) 現在利用しているサービスはどれですか。（あてはまるものすべてに○）

○現在利用している地域、NPOやボランティアによるサービスは、「食事、掃除、洗濯、買い物などの家事援助」(9.3%)が最も多く、次いで「身体の清拭や洗髪などの介護援助」(2.5%)となっている。一方、「利用していない」と回答した人は62.1%となっている。

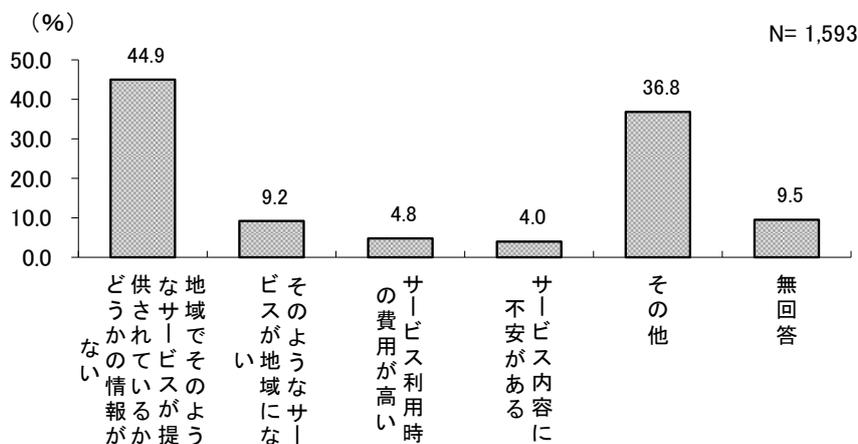


(4) 地域、NPOやボランティアによるサービスを利用していない理由【複数回答】

【問 30(1)で「利用していない」と回答した方のみ回答】

問 30(2) 利用していない理由は次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）

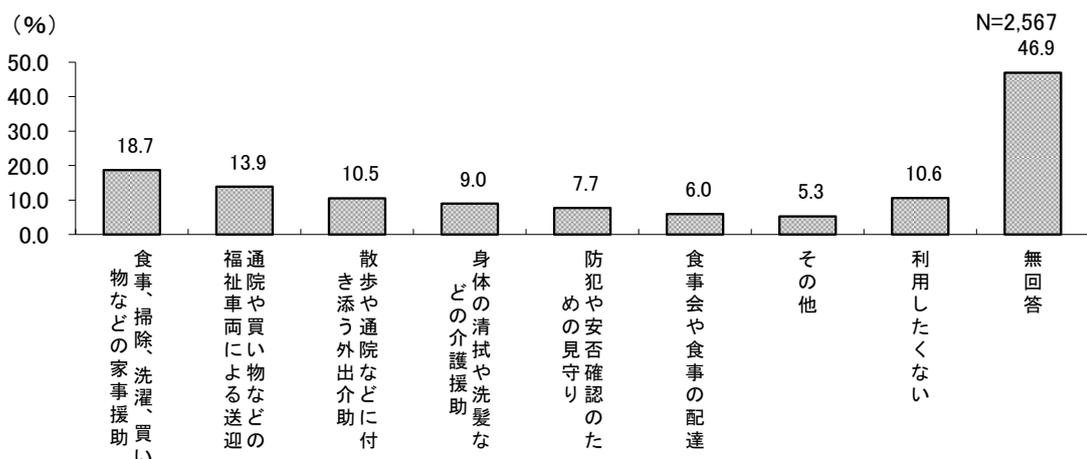
○地域、NPOやボランティアによるサービスを利用していない理由は、「地域でそのようなサービスが提供されているかどうかの情報がない」(44.9%)が最も多くなっている。



(5) 地域、NPOやボランティアによるサービスの今後の利用意向【複数回答】 在宅者等

問 30(3) 今後利用したい（現在利用していて、今後も引き続き利用したい場合を含む。）と思うサービスはどれですか。（あてはまるものすべてに○）

○今後利用したいと思う地域、NPOやボランティアによるサービスは、「食事、掃除、洗濯、買い物などの家事援助」（18.7%）が最も多く、次いで「通院や買い物などの福祉車両による送迎」（13.9%）、「散歩や通院などに付き添う外出介助」（10.5%）となっている。

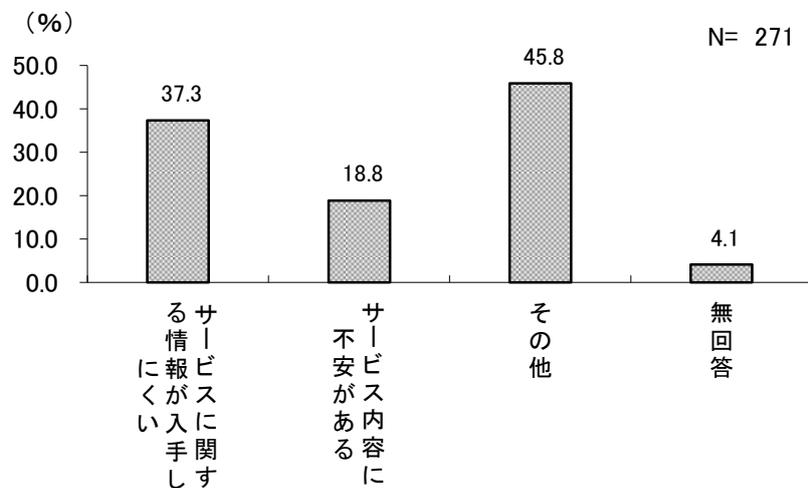


(6) 地域、NPOやボランティアによるサービスを今後利用したくない理由【複数回答】

【問 30(3)で「利用したくない」と回答した方のみ回答】

問 30(4) 利用したくない理由は次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）

○地域、NPOやボランティアによるサービスを今後利用したくない理由は、「サービスに関する情報が入手しにくい」（37.3%）が最も多く、次いで「サービス内容に不安がある」（18.8%）となっている。また、「その他」が45.8%と多く、その内容としては、「家族がみてくれるので今のところ必要がない」などが挙げられている。



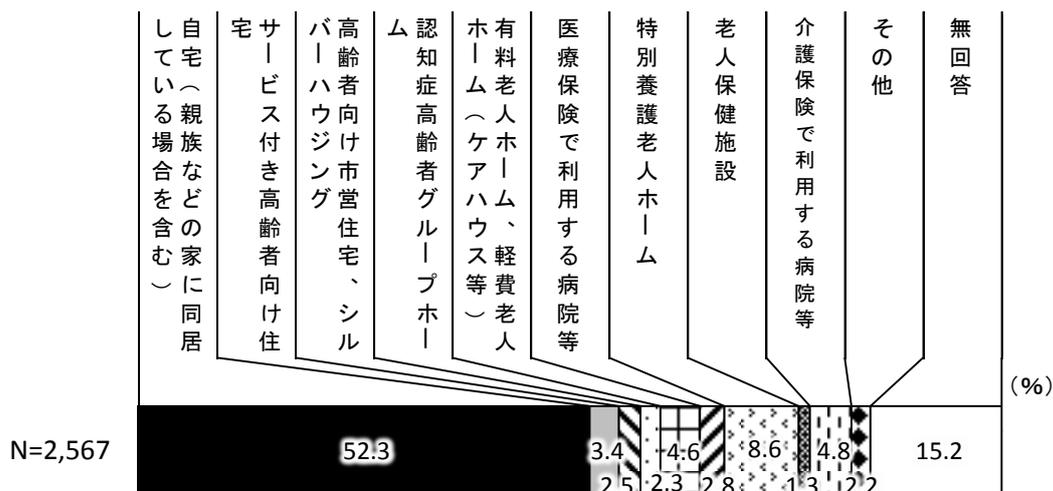
8 今後介護を受けたい場所と施設への入所申し込み状況について

(1) 今後介護を受けたい場所

在宅者等

問 31 今後どこで介護を受けながら生活したいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

○今後介護を受けたい場所は、「自宅」(52.3%)が約半数となっている。

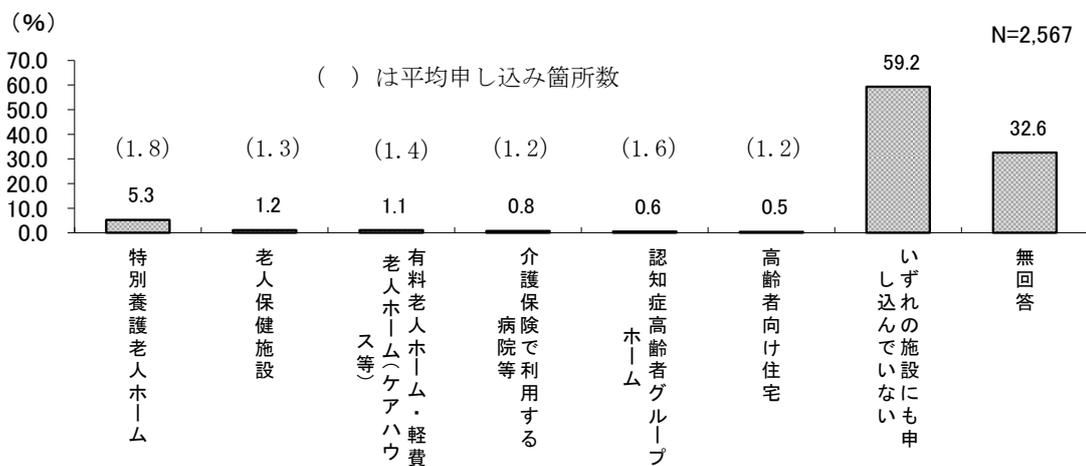


(2) 施設への入所申し込み状況【複数回答】

在宅者等

問 32 現在、次の施設に入所の申し込みをされていますか。申し込みをしている場合は、何か所に申し込んでいるかもお答えください。(あてはまるものすべてに○)

○施設への入所申し込み状況は、「特別養護老人ホーム」が5.3%で最も多くなっている。一方、「いずれの施設にも申し込んでいない」(59.2%)と回答した人が約6割となっている。

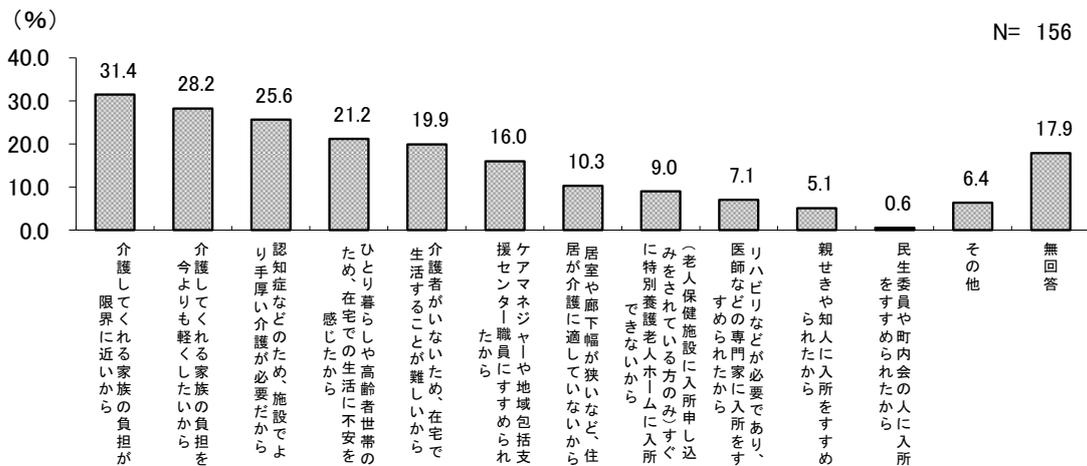


(3) 施設への入所申し込みの理由【複数回答】

【問32で「特別養護老人ホーム」「老人保健施設」に申し込みしていると回答した方のみ回答】

問33 入所の申し込みをしている理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

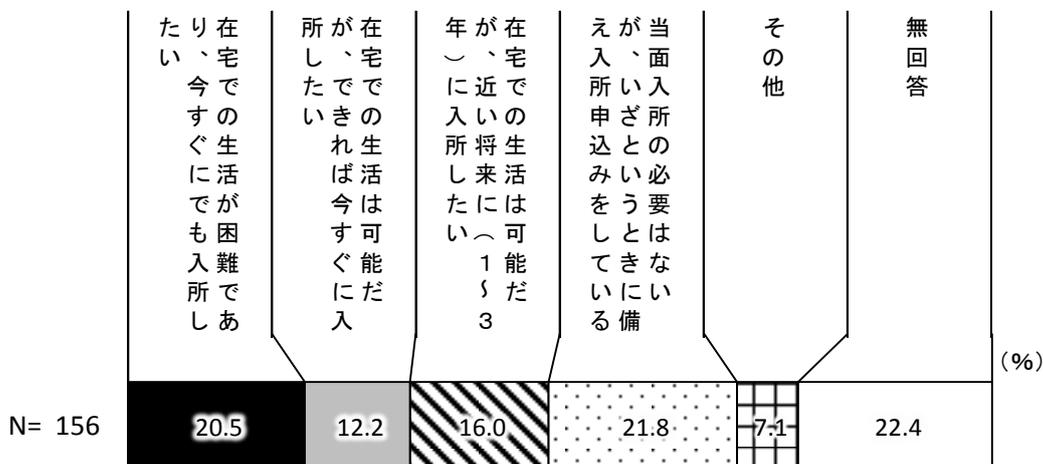
○施設（特別養護老人ホームまたは老人保健施設）に入所の申し込みをしている理由は、「介護してくれる家族の負担が限界に近いから」（31.4%）が最も多く、以下「介護してくれる家族の負担を今よりも軽くしたいから」（28.2%）、「認知症などのため、施設でより手厚い介護が必要だから」（25.6%）と続いている。



(4) 施設への入所の緊急度

問34 施設への入所の緊急度は次のうちどれですか。(あてはまるもの1つに○)

○施設への入所の緊急度は、「在宅での生活が困難であり、今すぐにでも入所したい」（20.5%）が最も多く、「在宅での生活は可能だが、できれば今すぐに入所したい」（12.2%）を合わせると《いますぐ入所したい》人は、約3割となっている。一方、「当面入所の必要はないが、いざというときに備え入所申込みをしている」は21.8%である。



9 施設入所者の状況について

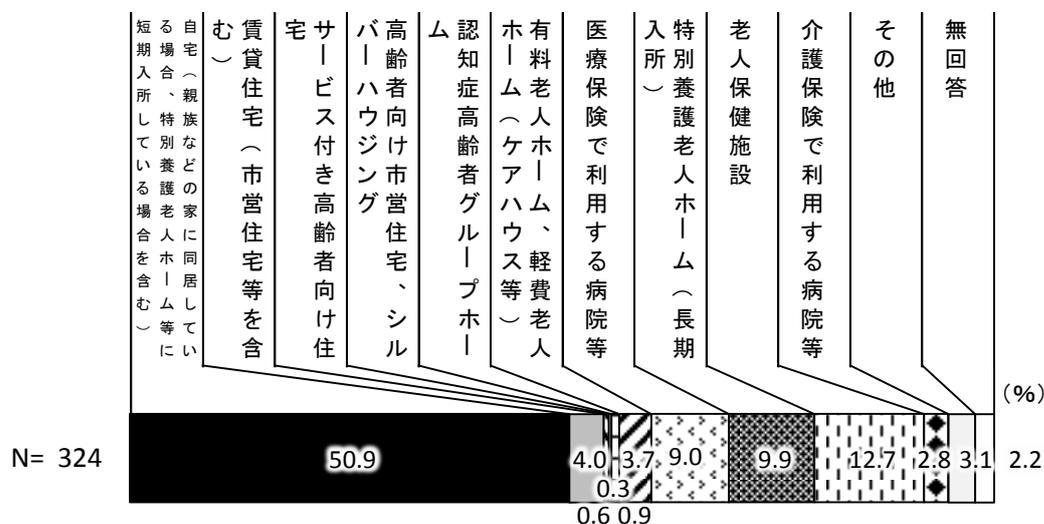
(1) 施設入所前の生活場所

施設入所者

【「特別養護老人ホーム（長期入所）」「老人保健施設」「介護保険で利用する病院等」に入所・入院している方のみ回答】

問 35 現在の施設・病院等に入所・入院する前に、ご本人はどこで生活していましたか。
(あてはまるもの1つに〇)

○現在の施設・病院等に入所・入院する前の生活場所は、「自宅（親族などの家に同居している場合、特別養護老人ホーム等に短期入所している場合を含む）」が 50.9%で最も多く、次いで「老人保健施設」(12.7%)、「特別養護老人ホーム（長期入所）」(9.9%) となっている。

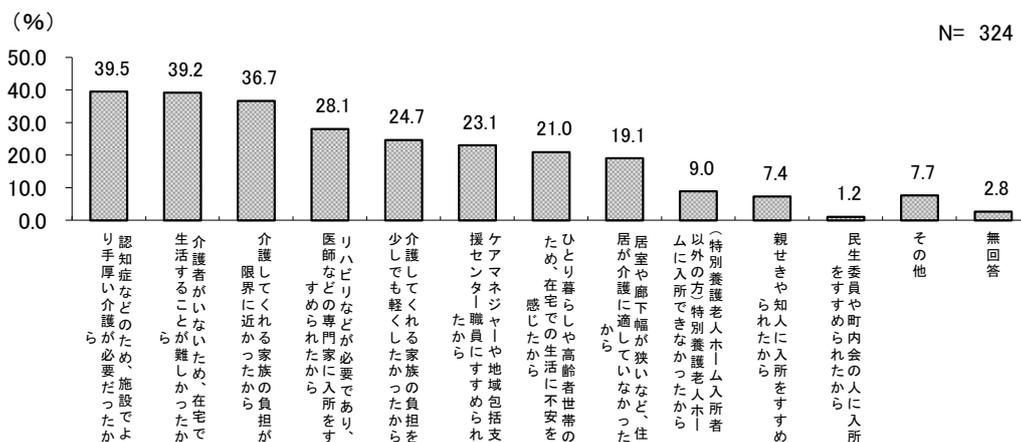


(2) 施設への入所理由【複数回答】

施設入所者

問 36 現在の施設・病院等に入所・入院した理由は何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

○現在の施設・病院等に入所・入院した理由は、「認知症などのため、施設でより手厚い介護が必要だったから」が 39.5%で最も多く、次いで「介護者がいないため、在宅で生活することが難しかったから」(39.2%)、「介護してくれる家族の負担が限界に近かったから」(36.7%) となっている。

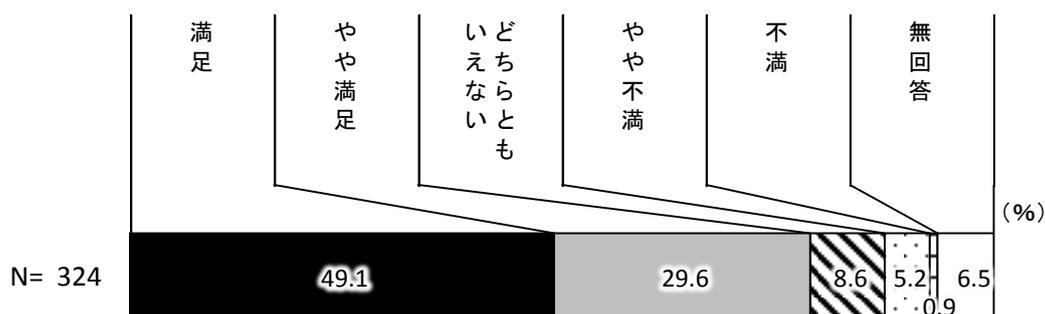


(3) 施設サービスの満足度

施設入所者

問 37 現在受けている施設サービスに満足していますか。(あてはまるもの一つに〇)

○現在受けている施設サービスの満足度は、「満足」(49.1%)、「やや満足」(29.6%)を合わせると、《満足》が約8割を占めている。一方、「やや不満」(5.2%)、「不満」(0.9%)を合わせた《不満》との回答は1割未満となっている。

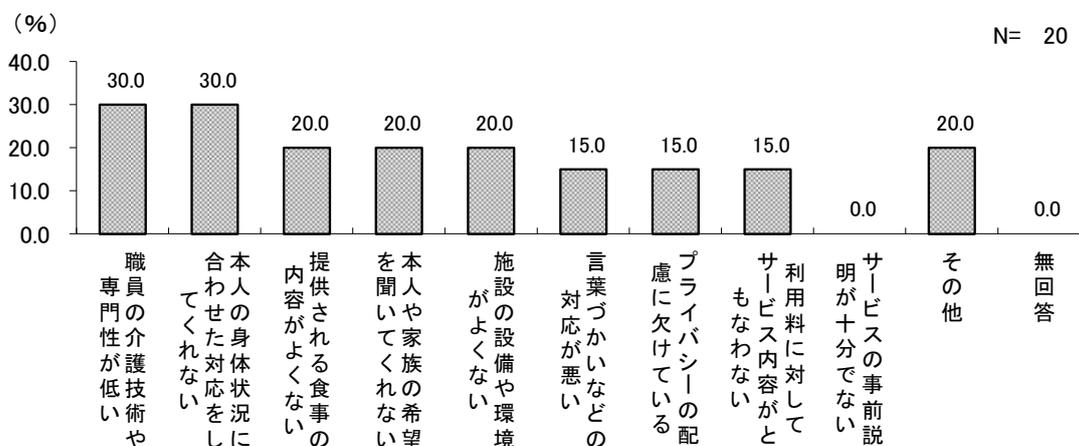


(4) 施設サービスの不満な点【複数回答】

【問37で「不満」「やや不満」と回答した方のみ回答】

問 38 どのようなことに不満がありますか。(あてはまるものすべてに〇)

○施設サービスの不満な点は、「職員の介護技術や専門性が低い」(30.0%)、「本人の身体状況に合わせた対応をしてくれない」(30.0%)が最も多く、以下「提供される食事の内容がよくない」(20.0%)、「本人や家族の希望を聞いてくれない」(20.0%)、「施設の設備や環境がよくない」(20.0%)と続いている。

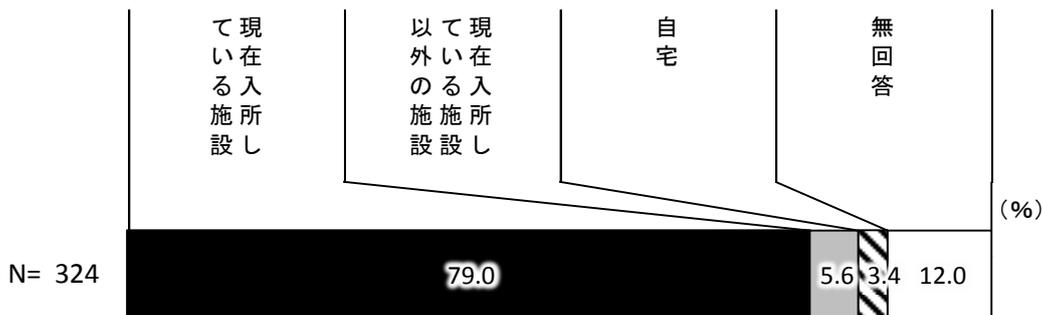


(5) 今後介護を受けたい場所

施設入所者

問 39 今後どのような場所で介護を受けたいですか。(あてはまるもの1つに〇)

○今後介護を受けたい場所は、「現在入所している施設」が79.0%で最も多くなっている。
 なお、「自宅」と回答した人は3.4%である。



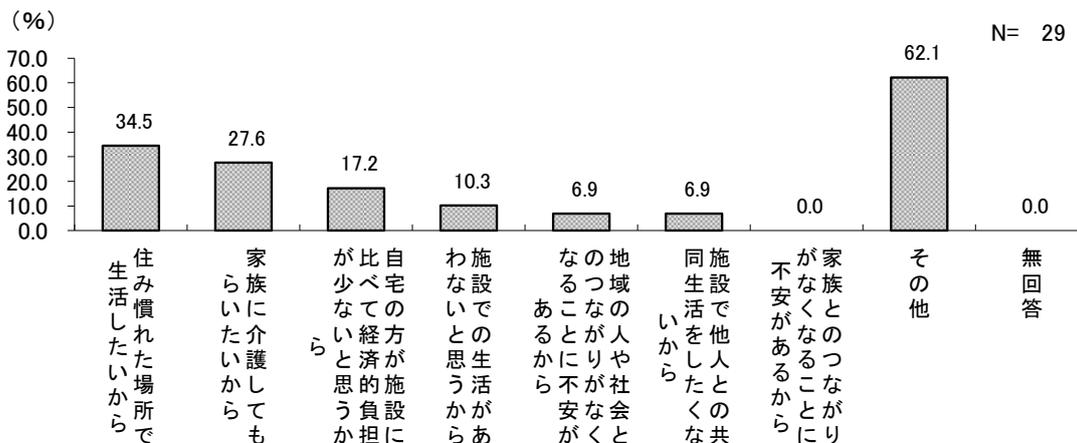
(6) 自宅や他施設での介護を希望する理由【複数回答】

【問39で今後介護を受けたい場所として「現在入所している施設以外の施設」「自宅」と回答した方のみ回答】

問 40 自宅や他施設での介護を希望する理由は何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

○自宅や他施設での介護を希望する理由は、「住み慣れた場所で生活したいから」(34.5%)が最も多く、以下「家族に介護してもらいたいから」(27.6%)、「自宅の方が施設に比べて経済的負担が少ないと思うから」(17.2%)と続いている。

また、「その他」が62.1%と多く、その内容としては、「特別養護老人ホームで安心した生活を送りたい」などが挙げられている。

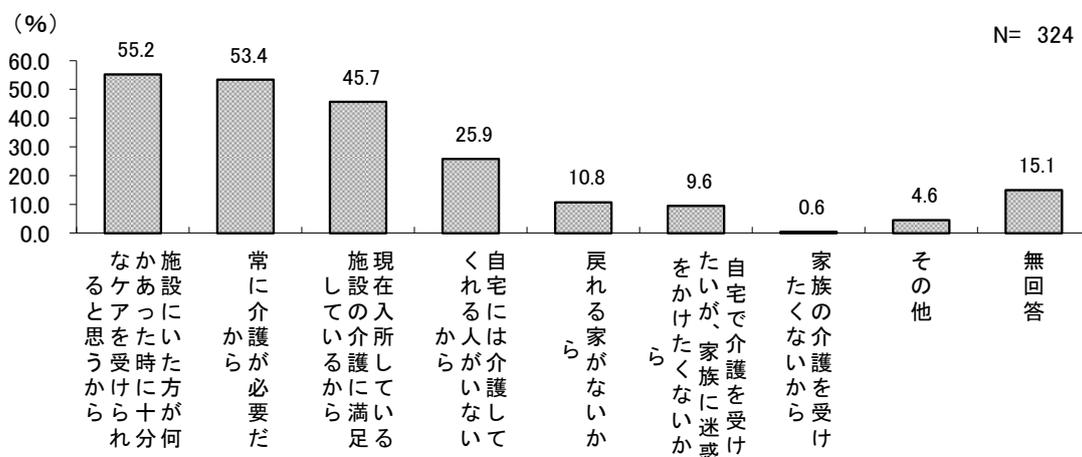


(7) 引き続き現在の施設に入所を希望する理由【複数回答】

【問39で今後介護を受けたい場所として「現在入所している施設」と回答した方のみ回答】

問41 引き続き現在の施設への入所を希望する理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

○引き続き現在の施設に入所を希望する理由は、「施設にいた方が何かあった時に十分なケアを受けられると思うから」(55.2%)が最も多く、以下「常に介護が必要だから」(53.4%)、「現在入所している施設の介護に満足しているから」(45.7%)、「自宅には介護してくれる人がいないから」(25.9%)となっている。



10 介護サービスに不満があった場合の対応について

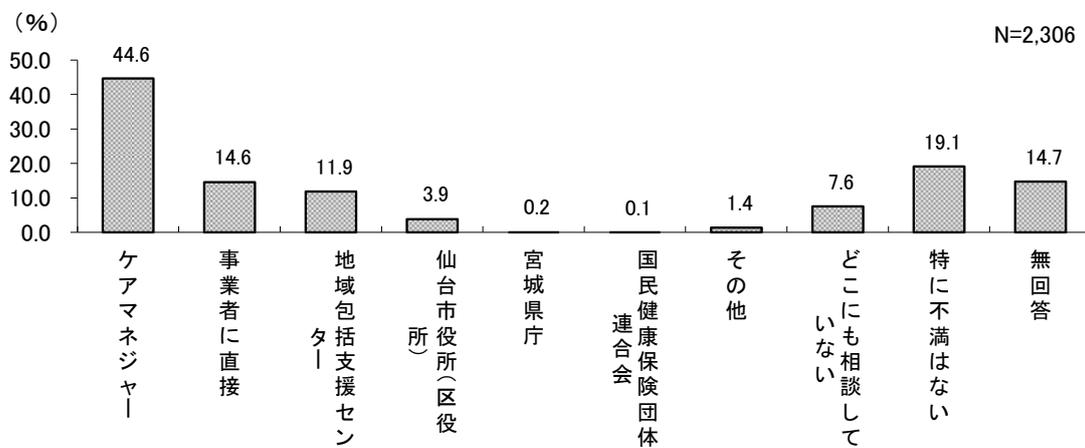
(1) 介護サービスに不満があった場合の相談先【複数回答】

介護サービス利用者

問 42 介護サービスに不満があった場合、どこに相談していましたか。

(あてはまるものすべてに○)

○介護サービスに不満があった場合の相談先は、「ケアマネジャー」(44.6%)が最も多く、次いで「事業者へ直接」(14.6%)となっており、事業者へ直接相談する人よりもケアマネジャーに相談する人の方が多くなっている。



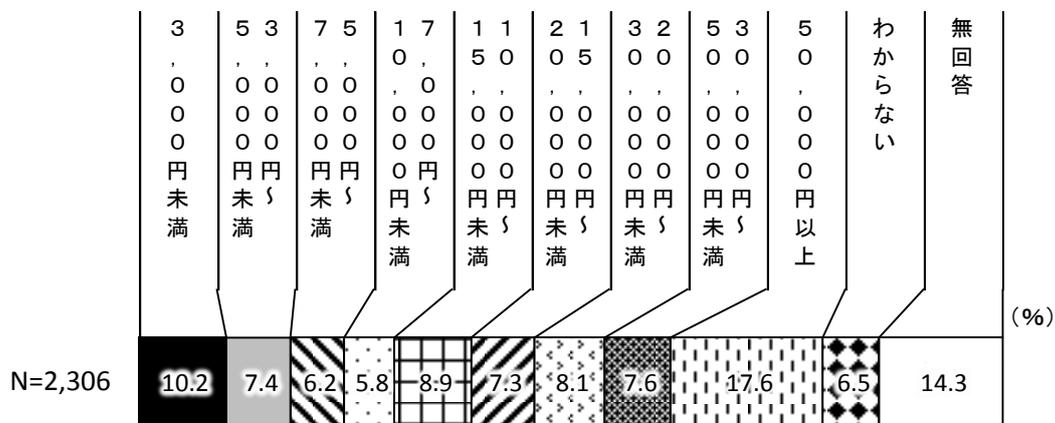
11 介護サービスの利用者負担について

(1) 1か月の平均的な利用者負担額

介護サービス利用者

問43 現在、利用している介護サービスの1か月の平均的な利用者負担額（1割負担分に食費・居住費（滞在費）を加えたもの）は次のうちどれですか。（あてはまるもの1つに○）

○1か月の平均的な利用者負担額は、「50,000円以上」（17.6%）が最も多く、以下「3,000円未満」（10.2%）、「10,000円～15,000円未満」（8.9%）、「20,000円～30,000円未満」（8.1%）と続き、《10,000円未満》《10,000円～50,000円未満》がそれぞれ全体の約3割を占めている。

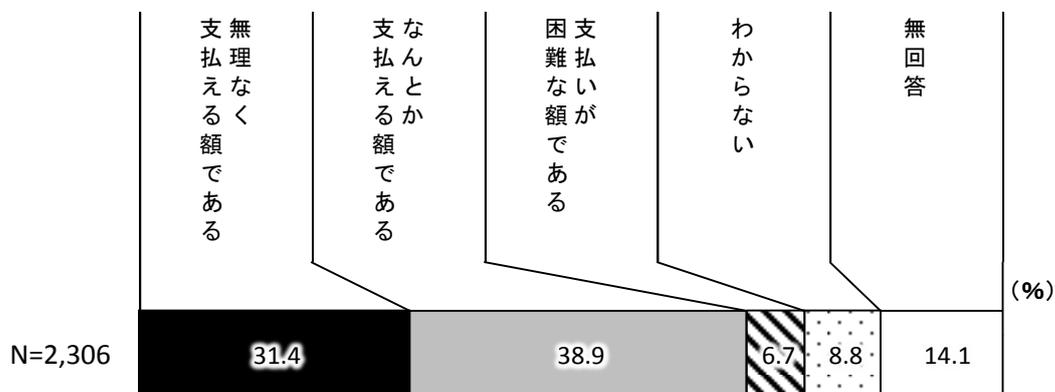


(2) 利用者負担の負担感

介護サービス利用者

問44 介護サービスを利用する際に支払っている利用者負担額（1割負担分に食費・居住費（滞在費）を加えたもの）について、ご本人はどのように感じていますか。（あてはまるもの1つに○）

○利用者負担の負担感は、「なんとか支払える額である」（38.9%）が最も多く、「無理なく支払える額である」（31.4%）を合わせると、全体の約7割を占めている一方、「支払いが困難な額である」が6.7%となっている。



12 介護保険料について

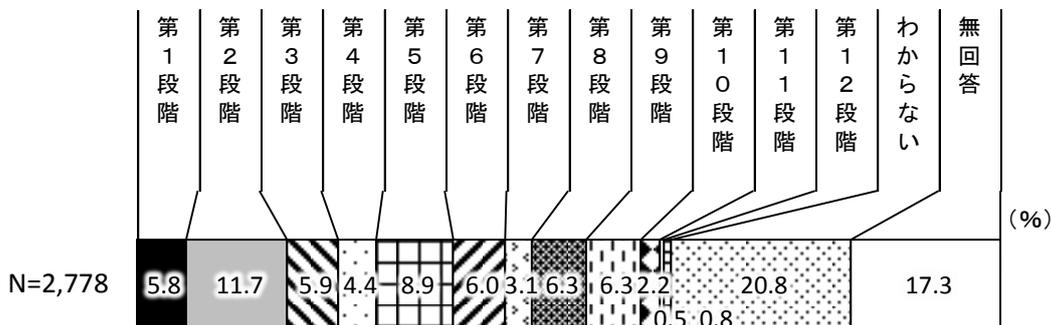
(1) 保険料の所得段階

65歳以上全員

問 45 ご本人の保険料段階は、次のうちどれですか。(あてはまるもの1つに○)

※ 保険料の段階は、「平成25年度介護保険料決定通知書」に記載されています。

○保険料の所得段階は、「第2段階」が11.7%で最も多く、次いで「第5段階」(8.9%)、「第8段階」(6.3%)、「第9段階」(6.3%)となっている。



【参考】仙台市の第1号被保険者（65歳以上の方）の保険料（平成24～26年度）

所得段階	対象となる方	基準額に対する割合	年額保険料 ※	月額換算
第1段階	次のいずれかに該当する方 ①生活保護を受けている方 ②本人が老齢福祉年金受給者で、世帯全員が市町村民税非課税の方	0.50	30,800円	2,571円
第2段階	本人の前年の「合計所得金額」と「課税年金収入額」の合計額が80万円以下の方	0.50	30,800円	2,571円
第3段階	世帯全員が市町村民税非課税で 本人の前年の「合計所得金額」と「課税年金収入額」の合計額が80万円を超え、120万円以下の方	0.65	40,100円	3,342円
第4段階	本人の前年の「合計所得金額」と「課税年金収入額」の合計額が120万円を超える方	0.75	46,200円	3,857円
第5段階	本人が市町村民税非課税で、他の世帯員に市町村民税を課税されている方がいて 本人の前年の「合計所得金額」と「課税年金収入額」の合計額が80万円以下の方	0.85	52,400円	4,371円
第6段階	本人の前年の「合計所得金額」と「課税年金収入額」の合計額が80万円を超える方	1.00 (基準額)	61,700円	5,142円
第7段階	本人の前年の「合計所得金額」が125万円未満の方	1.10	67,800円	5,656円
第8段階	本人の前年の「合計所得金額」が125万円以上200万円未満の方	1.25	77,100円	6,428円
第9段階	本人の前年の「合計所得金額」が200万円以上300万円未満の方	1.50	92,500円	7,713円
第10段階	本人が市町村民税課税で 本人の前年の「合計所得金額」が300万円以上500万円未満の方	1.65	101,800円	8,484円
第11段階	本人の前年の「合計所得金額」が500万円以上700万円未満の方	1.85	114,100円	9,513円
第12段階	本人の前年の「合計所得金額」が700万円以上の方	2.00	123,400円	10,284円

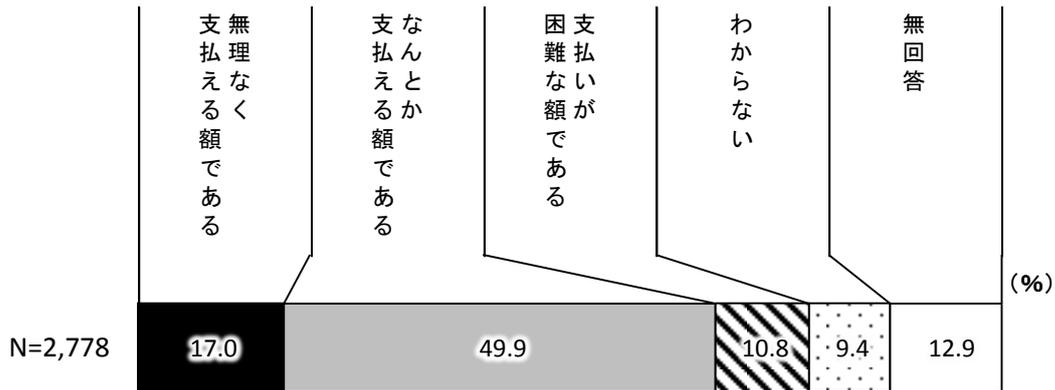
※ 100円未満切捨て

(2) 介護保険料の負担感

65歳以上全員

問46 現在の保険料額を、どのように感じていますか。(あてはまるもの1つに〇)

○保険料の負担感は、「なんとか支払える額である」(49.9%)が約半数となっており、「無理なく支払える額である」(17.0%)を合わせると、全体の約3分の2を占めている一方、「支払いが困難な額である」が10.8%となっている。



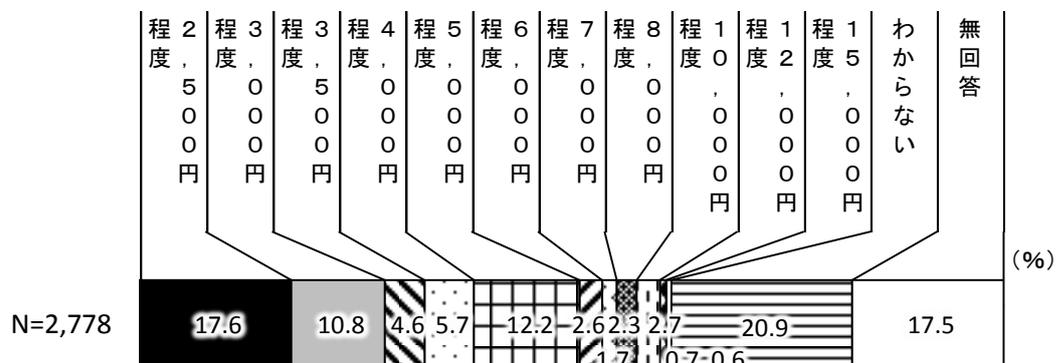
(3) 妥当と考える保険料額

65歳以上全員

問47 現在のご本人の保険料段階として、妥当と考える保険料の額は、ひと月あたりどのくらいの額ですか。(あてはまるもの1つに〇)

※ 例えば、第2段階の方は第2段階として妥当と考える額をお答えください。

○妥当と考える保険料額は、「2,500円程度」(17.6%)が最も多く、以下「5,000円程度」(12.2%)、「3,000円程度」(10.8%)と続いている。

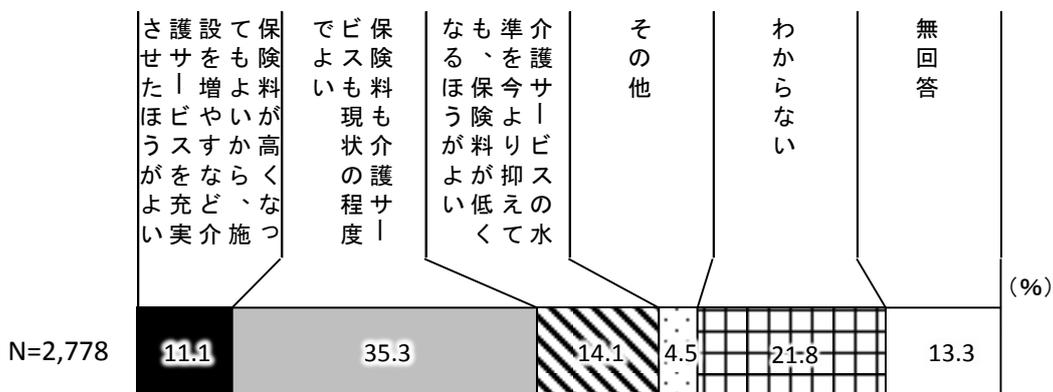


(4) 保険料と介護サービスのあり方

65歳以上全員

問 48 介護保険料の基準額は、介護サービスの利用量によって決まります。よって、施設が増えたり、介護サービスが充実するなどして利用量が増えると、保険料も増加することになります。このことを踏まえ、保険料と介護サービスのあり方について、ご本人の考えに最も近いものは、次のうちどれですか。(あてはまるもの1つに○)

○保険料と介護サービスのあり方については、「保険料もサービスも現状の程度でよい」が35.3%で最も多く、次いで「わからない」(21.8%)、「介護サービスの水準を今より抑えても、保険料が低くなるほうがよい」(14.1%)、「保険料が高くなってもよいから、施設を増やすなど介護サービスを充実させたほうがよい」(11.1%)となっている。

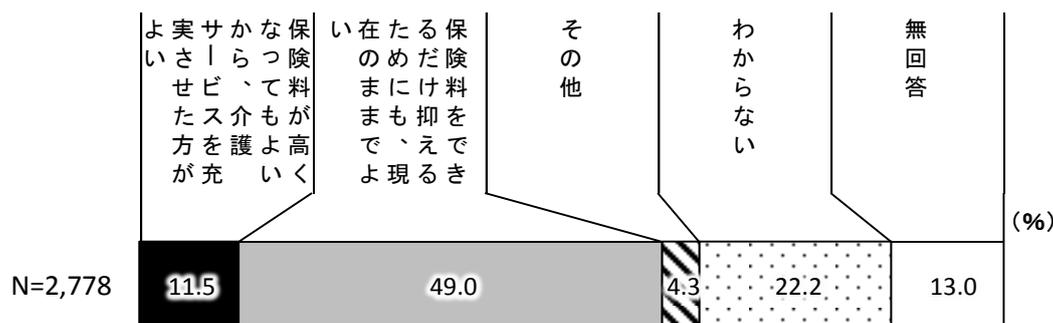


(5) 市町村特別給付等に関する考え方

65歳以上全員

問 49 介護保険制度では、基本的なサービスの水準を国が定めていますが、仙台市の判断でその他のサービスを保険給付の対象に加えたり、サービスの利用限度額(1割負担で利用できる限度額)を高く設定することができます。ただしこの場合、必要な費用は全額65歳以上の方の保険料でまかなうことになるため、皆様からいただく保険料が高くなります。このことを踏まえ、保険料と介護サービスのあり方について、ご本人の考えに最も近いものは、次のうちどれですか。(あてはまるもの1つに○)

○市町村特別給付等に関する考え方は、「保険料をできるだけ抑えるためにも、現在のままでよい」(49.0%)が最も多く、次いで「保険料が高くなってもよいから、介護サービスを充実させた方がよい」(11.5%)となっている。



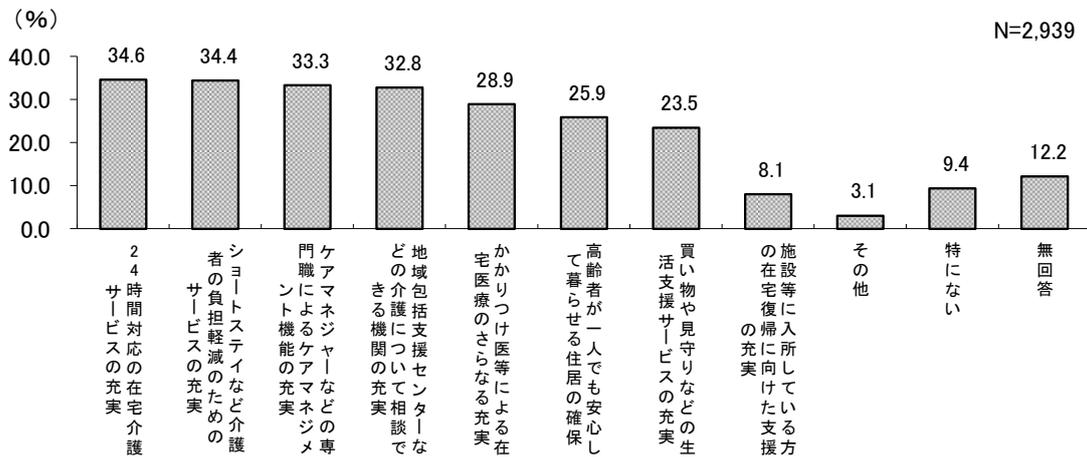
13 地域包括ケアシステムの構築について

(1) 地域包括ケアシステムの構築のために必要なこと【複数回答】

対象者全員

問 50 現在、国や仙台市では、要介護状態になってもできるだけ在宅（住み慣れた地域）で暮らしていくことができる社会（地域包括ケアシステムの構築）を目指して施策を進めています。今後、高齢者の増加に伴い、要介護者も増えていく中で、本人の希望に沿いながら、できるだけ在宅で暮らしていけるようになるには、どのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

○地域包括ケアシステムの構築のために必要なことは、「24 時間対応の在宅介護サービスの充実」(34.6%) が最も多く、次いで「ショートステイなど介護者の負担軽減のためのサービスの充実」(34.4%)、「ケアマネジャーなどの専門職によるケアマネジメント機能の充実」(33.3%)、「地域包括支援センターなどの介護に関する相談できる機関の充実」(32.8%)、「かかりつけ医等による在宅医療のさらなる充実」(28.9%)、「高齢者が一人でも安心して暮らせる住居の確保」(25.9%)、「買い物や見守りなどの生活支援サービスの充実」(23.5%)、「施設等に入所している方の在宅復帰に向けた支援の充実」(8.1%)、「その他」(3.1%)、「特にない」(9.4%)、「無回答」(12.2%)となっている。



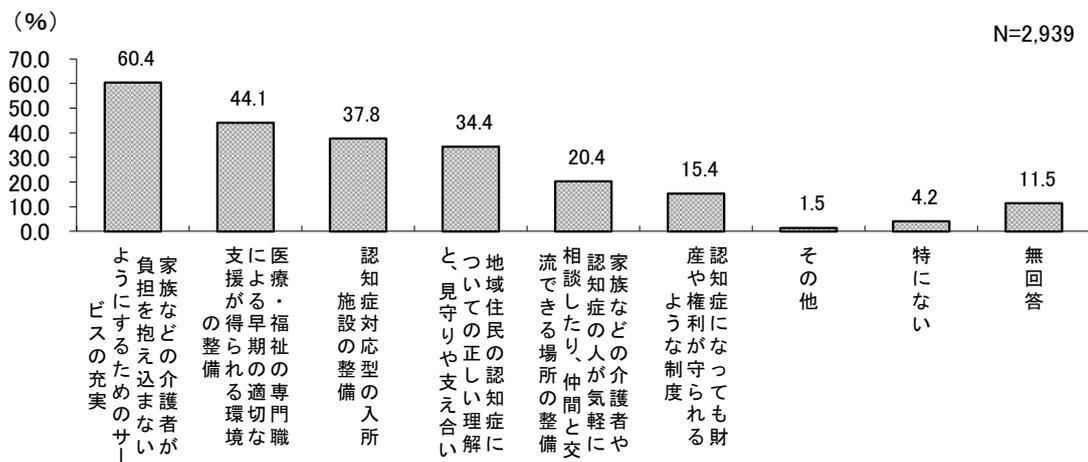
14 認知症対策について

(1) 認知症になっても安心して生活するために必要なこと【複数回答】 対象者全員

問51 認知症になっても安心して生活するには、どのようなことが必要と考えますか。

(あてはまるもの3つに〇)

○認知症になっても安心して生活するために必要なことは、「家族などの介護者が負担を抱え込まないようにするためのサービスの充実」(60.4%)が最も多く、次いで「医療・福祉の専門職による早期の適切な支援が得られる環境の整備」(44.1%)、「認知症対応型の入所施設の整備」(37.8%)となっている。



15 仙台市の介護保険について

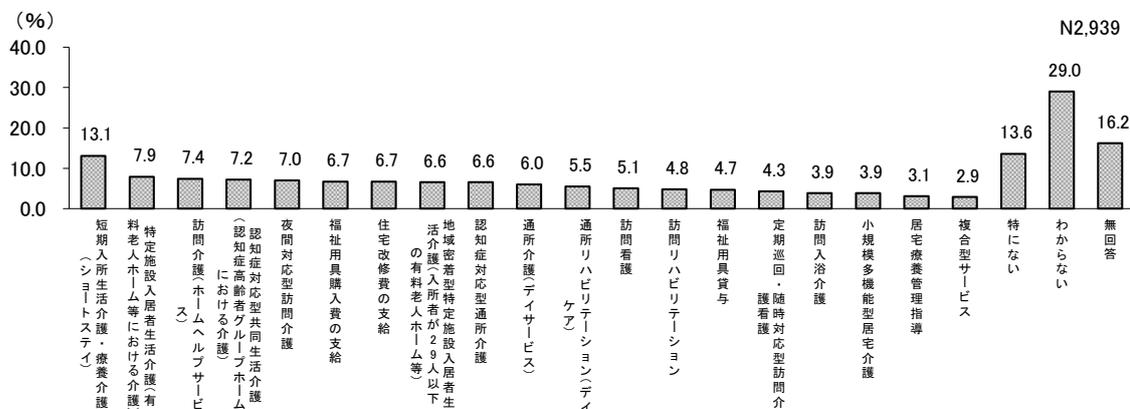
(1) 特に不足していると感じる在宅サービス【複数回答】

対象者全員

問 52 仙台市の介護保険のサービスのうち、特に不足している（利用したいが満員で利用できない）と感じているサービスは、次のうちどれですか。

(1) 在宅サービス（あてはまるものすべてに○）

○特に不足していると感じる在宅サービスは、「短期入所生活介護・療養介護（ショートステイ）」（13.1%）が最も多く、次いで「特定施設入居者生活介護（有料老人ホーム等における介護）」（7.9%）、「訪問介護（ホームヘルプサービス）」（7.4%）となっている。
 なお、「特にない」が13.6%、「わからない」が29.0%となっている。

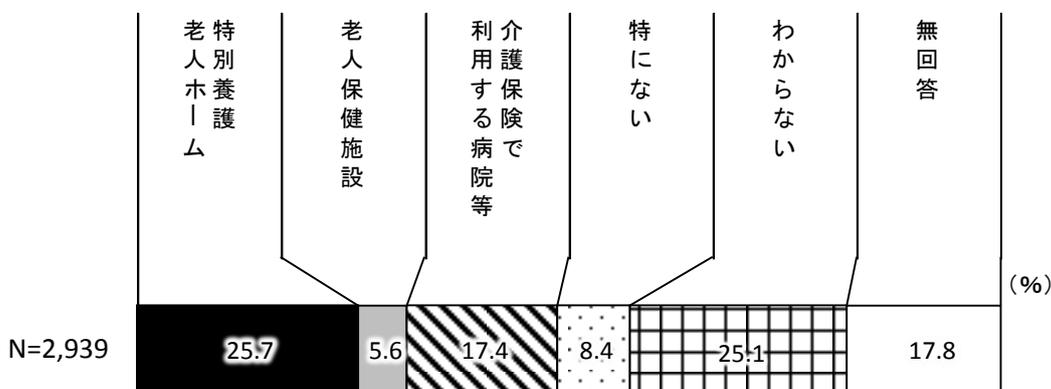


(2) 特に不足していると感じる施設サービス

対象者全員

問 52(2) 施設サービス（あてはまるもの1つに○）

○特に不足していると感じる施設サービスは、「特別養護老人ホーム」（25.7%）が最も多く、次いで「介護保険で利用する病院等」（17.4%）となっている。
 なお、「わからない」は25.1%となっている。

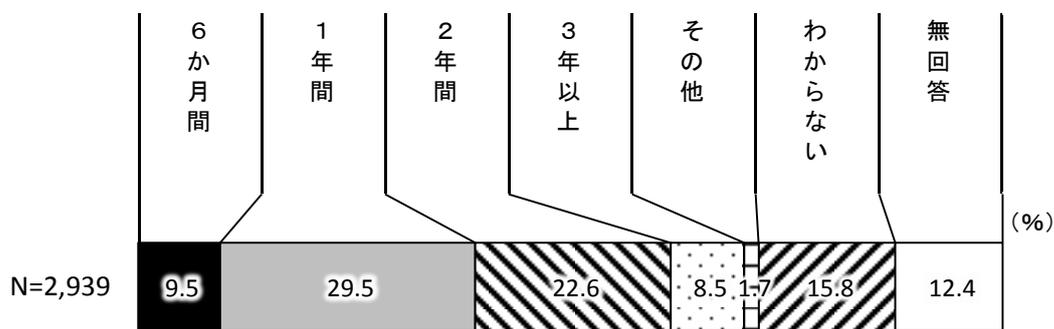


(3) 要介護等認定有効期間の適切な長さ

対象者全員

問 53 現在、新規の要介護等認定の有効期間は6か月、更新認定の有効期間はご本人の状態に応じ6～24か月の範囲で定めることとなります。この有効期間について、どのくらいの長さが適当だと考えますか。(あてはまるもの1つに〇)
 ※ ただし、心身の状態が現在の要介護・要支援区分よりも悪化した(良くなった)場合は、有効期間中であっても、区分変更の申請を行うことができます。

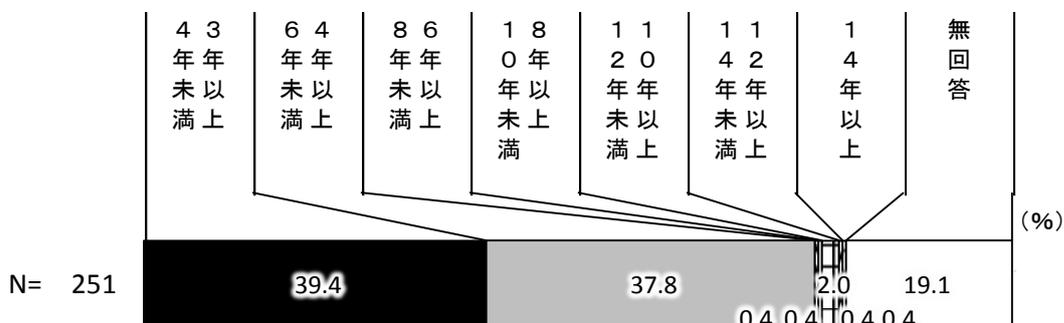
○要介護等認定有効期間の適切な長さは、「1年間」が29.5%で最も多く、次いで「2年間」(22.6%)、「6か月間」(9.5%)となっている。



(4) 要介護等認定有効期間の適切な長さ (「3年以上」の場合の年数)

【問53で「3年以上」と回答した方のみ回答】
 年数をお書きください _____ 年

○要介護等認定有効期間の適切な長さで「3年以上」と回答した方に、具体的な年数をたずねたところ、「3年以上4年未満」(39.4%)が最も多く、次いで「4年以上6年未満」(37.8%)となっている。

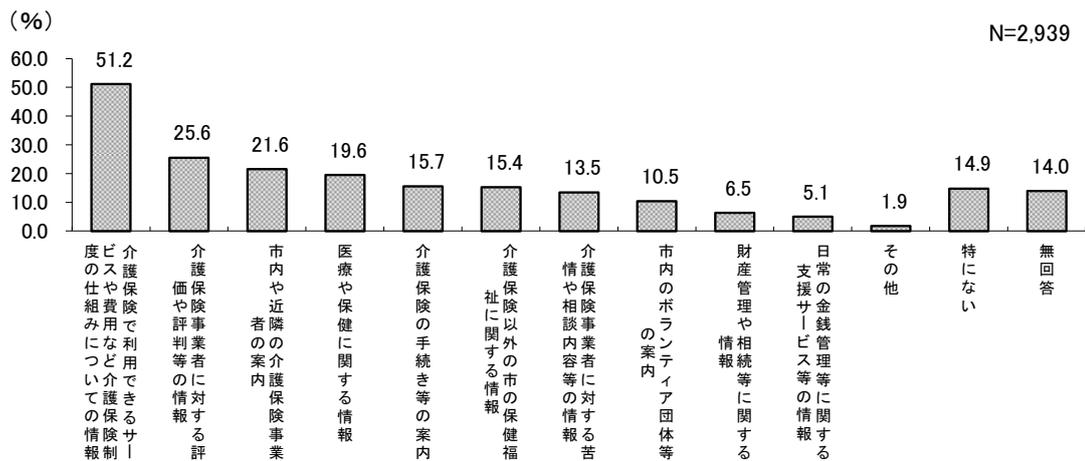


(5) 介護保険に関連して最も知りたいと思う情報【複数回答】

対象者全員

問 54 介護保険に関連して、最も知りたいと思う情報は何か。(あてはまるものすべてに○)

○介護保険に関連して最も知りたいと思う情報は、「介護保険で利用できるサービスや費用など介護保険制度の仕組みについての情報」(51.2%)が最も多く、次いで「介護保険事業者に対する評価や評判等の情報」(25.6%)、「市内や近隣の介護保険事業者の案内」(21.6%)となっている。

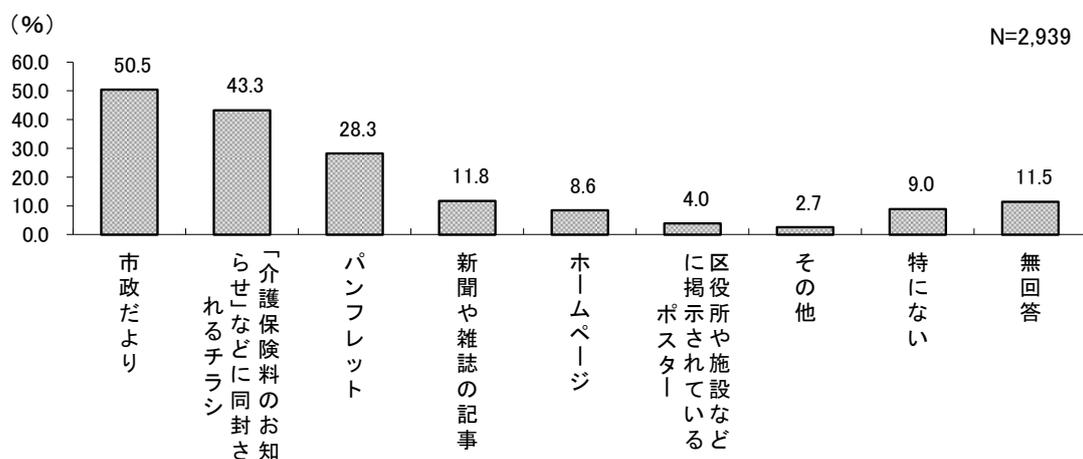


(6) 介護保険に関する広報手段【複数回答】

対象者全員

問 55 仙台市からの介護保険に関するお知らせについて、どんな広報手段が充実していると便利だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

○介護保険に関してどのような広報手段が充実していると便利かをたずねたところ、「市政だより」が 50.5%で最も多く、次いで『介護保険料のお知らせ』などに同封されるチラシ」(43.3%)、「パンフレット」(28.3%)となっている。



16 安否確認について

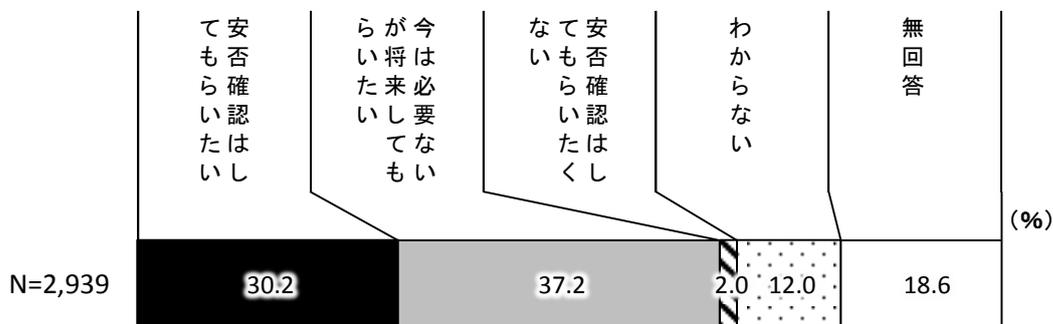
(1) 安否確認の必要性

対象者全員

問 56 ご本人は、どのようなときに、どなたに安否を確認（見守りや訪問）してもらいたいとお聞きします。

(1) 安否を確認してもらいたいですか。（あてはまるもの1つに〇）

○安否確認の必要性については、「今は必要ないが将来してもらいたい」（37.2%）と「安否確認はしてもらいたい」（30.2%）を合わせて、《安否確認をしてもらいたい》との回答は、全体の約3分の2を占めている。



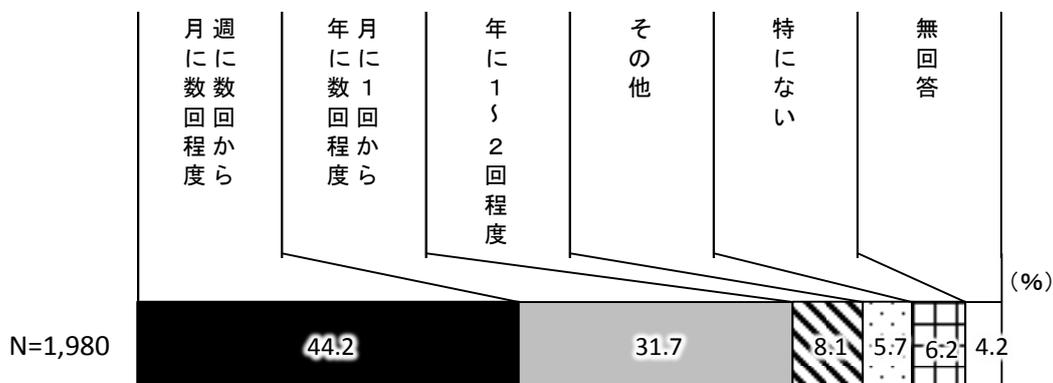
(2) 安否確認の希望回数

【問 56(1)で「安否確認はしてもらいたい」「今は必要ないが将来してもらいたい」と回答した方のみ回答】

問 56(2) どのようなときに安否を確認してもらいたいですか。

① 回数（あてはまるもの1つに〇）

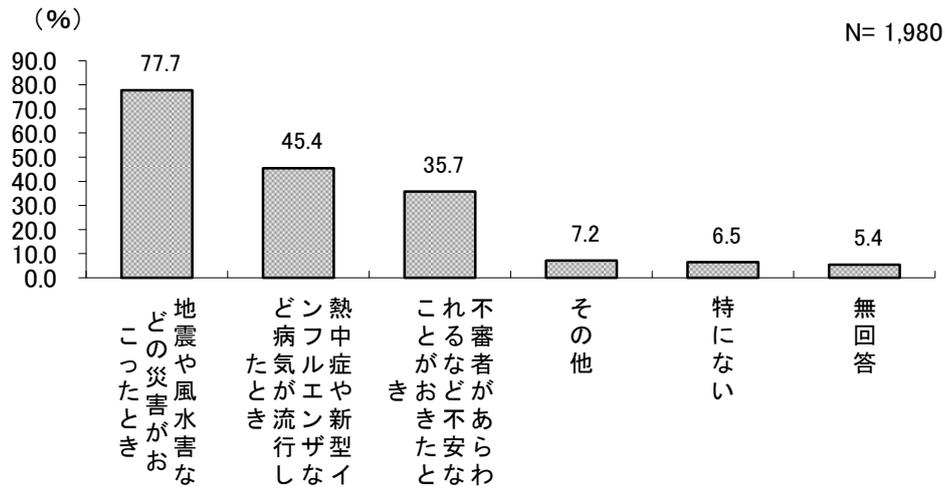
○安否確認の希望回数は、「週に数回から月に数回程度」（44.2%）が最も多く、次いで「月に1回から年に数回程度」（31.7%）、「年に1～2回程度」（8.1%）となっている。



(3) 安否確認を希望する状況【複数回答】

問 56(2) ② 状況 (あてはまるものすべてに○)

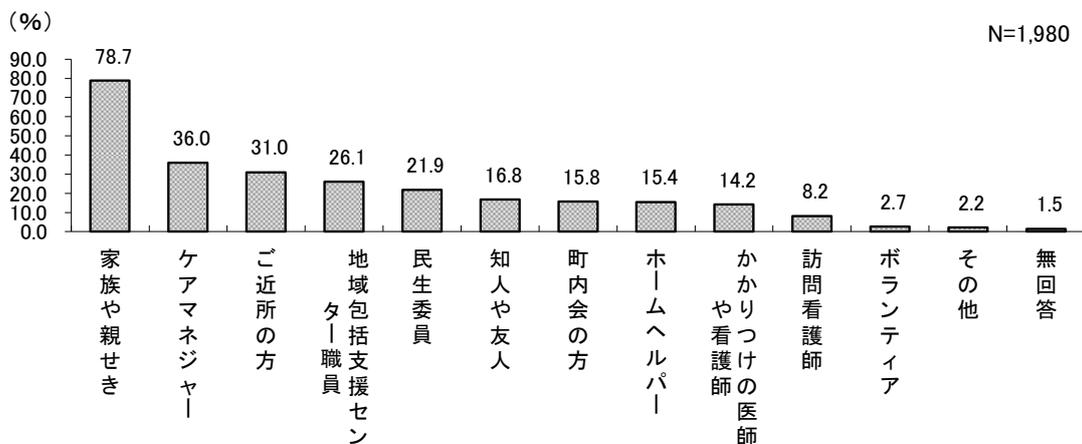
○安否確認を希望する状況は、「地震や風水害などの災害がおこったとき」(77.7%) が最も多く、次いで「熱中症や新型インフルエンザなど病気が流行したとき」(45.4%)、「不審者があらわれるなど不安なおこったとき」(35.7%) となっている。



(4) 安否確認をしてもらいたい相手方【複数回答】

問 56(3) どなたに安否を確認してもらいたいですか。(あてはまるものすべてに○)

○安否確認をしてもらいたい相手方は、「家族や親せき」(78.7%) が最も多く、次いで「ケアマネジャー」(36.0%)、「ご近所の方」(31.0%)、「地域包括支援センター職員」(26.1%) となっている。



17 災害時要援護者情報登録制度について

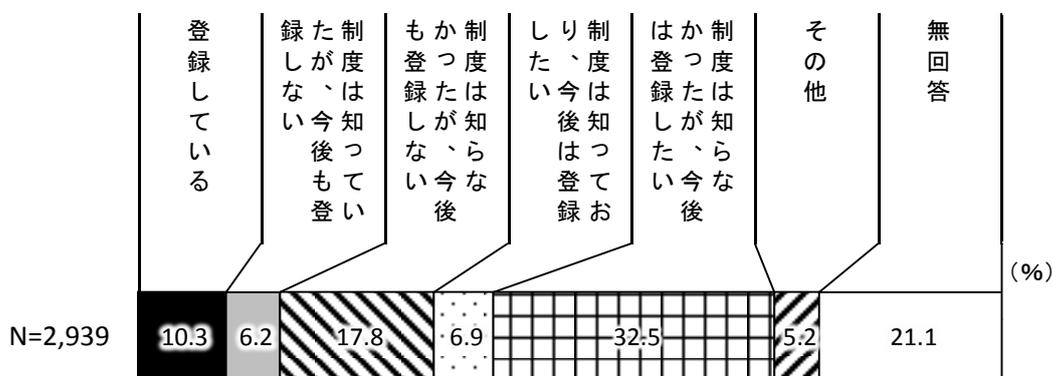
(1) 制度への登録の有無・今後の登録の意向

対象者全員

問 57 災害時要援護者情報登録制度に関して伺います。

(1) 災害時要援護者情報登録制度に登録していますか。(あてはまるもの1つに〇)

○制度への登録の有無・今後の登録の意向については、「制度は知らなかったが、今後は登録したい」(32.5%)、「制度は知っており、今後は登録したい」(6.9%)を合わせた《登録したい》との回答が約4割となっている。また、「登録している」は10.3%となっている。

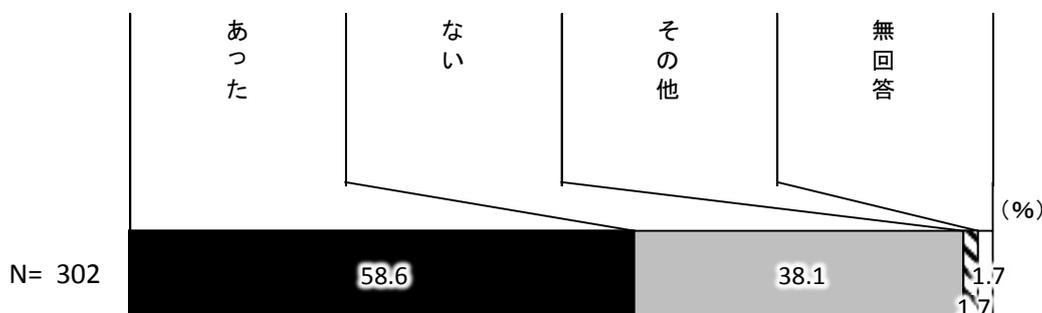


(2) 町内会等からの制度に関する連絡や訪問の有無

【問57(1)で「登録している」と回答した方のみ回答】

問 57(2) 今年に入ってから町内会や民生委員など地域団体等の方から、災害時要援護者情報登録制度に関連しての連絡や訪問はありましたか。(あてはまるもの1つに〇)

○町内会等からの制度に関する連絡や訪問の有無については、「あった」が58.6%、「ない」が38.1%となっている。

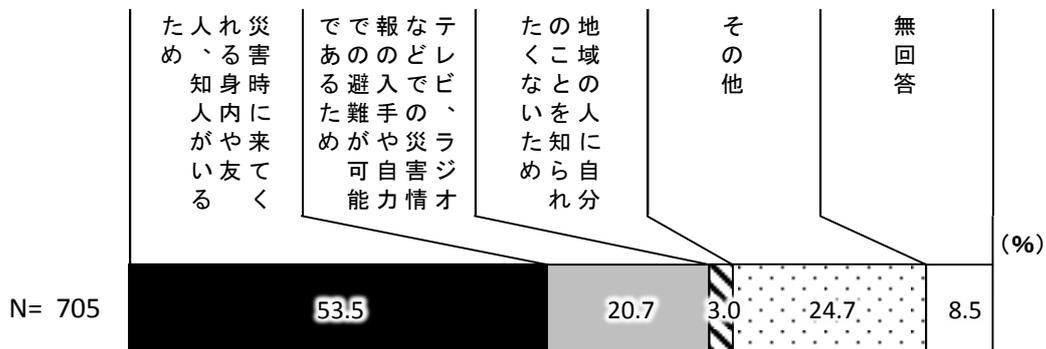


(3) 今後も登録しない理由【複数回答】

【問 57(1)で「制度は知っていたが、今後も登録しない」「制度は知らなかったが、今後も登録しない」と回答した方のみ回答】

問 57(3) 「今後も登録しない」理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

○今後も登録しない理由は、「災害時に来てくれる身内や友人、知人がいるため」(53.5%)が最も多く、次いで「テレビ、ラジオなどでの災害情報の入手や自力での避難が可能であるため」(20.7%)、「地域の人に自分のことを知られたくないため」(3.0%)となっている。

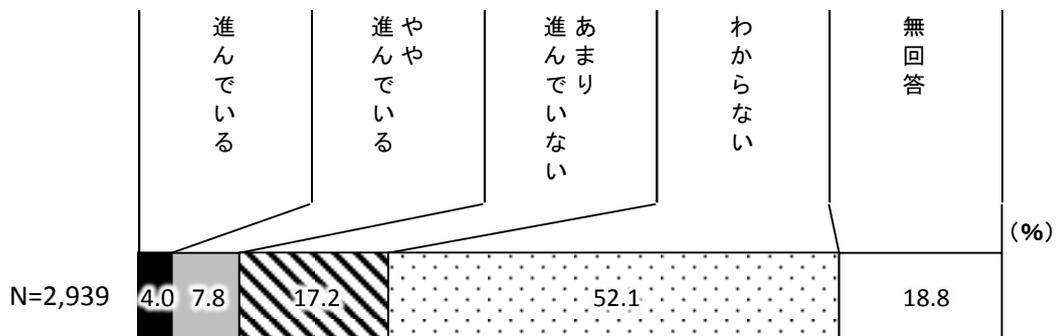


(4) 居住地域の災害時要援護者支援の取り組み状況

対象者全員

問 57(4) あなたのお住まいの地域の災害時要援護者支援の取り組みについて、どのように感じですか。(あてはまるもの1つに○)

○居住地域の災害時要援護者支援の取り組み状況は、「進んでいる」(4.0%)、「やや進んでいる」(7.8%)を合わせた《進んでいる》との回答は全体の約1割となっている一方で、「あまり進んでいない」が17.2%となっている。なお、「わからない」が52.1%となっている。



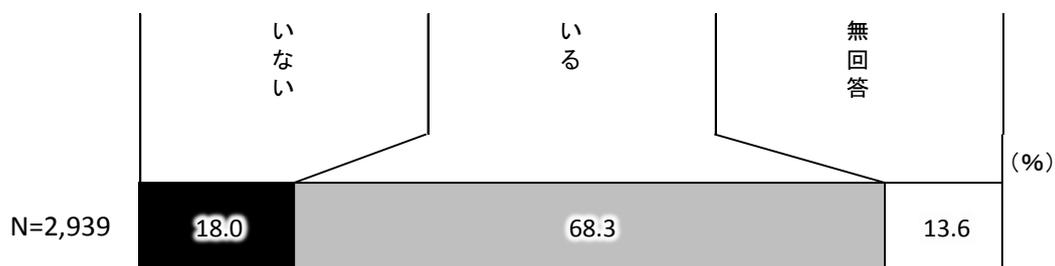
18 介護者について

(1) 介護者の有無

対象者全員

問 59 ご本人には、同居、別居を問わず介護をしてくれるご家族・ご親族の方はいらっしゃいますか。(あてはまるもの1つに〇)

○介護者は、「いる」と回答した人が 68.3%である一方、「いない」と回答した人は 18.0%となっている。



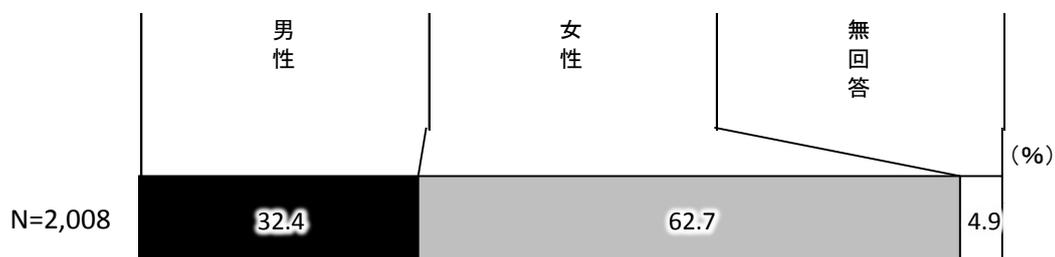
(2) 介護者の性別

介護者

問 60 介護者の方について、次の項目にお答えください。(それぞれあてはまるもの1つに〇)

性別

○介護者の性別は、「女性」が 62.7%、「男性」が 32.4%となっている。

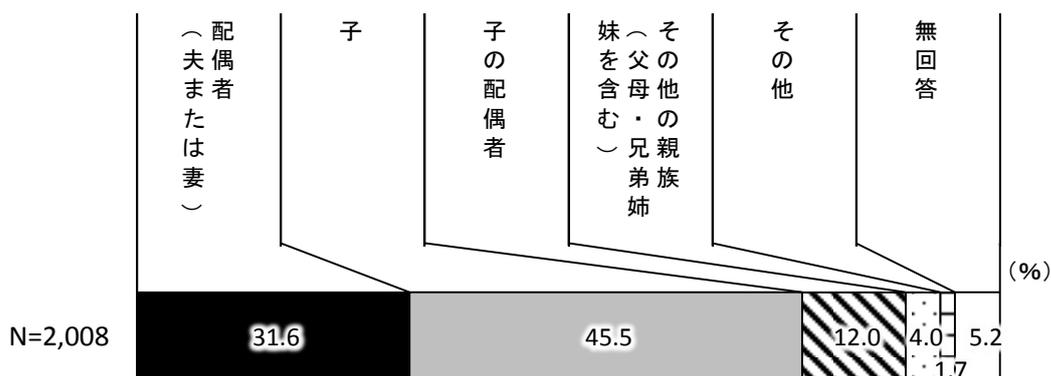


(3) 介護者の続柄

介護者

問 60 続 柄 (ご本人から見た場合)

○介護者の続柄は、「子」(45.5%)が最も多く、次いで「配偶者(夫または妻)」(31.6%)となっている。なお、「子」と「子の配偶者」(12.0%)を合わせると、介護者の半数以上を占めている。

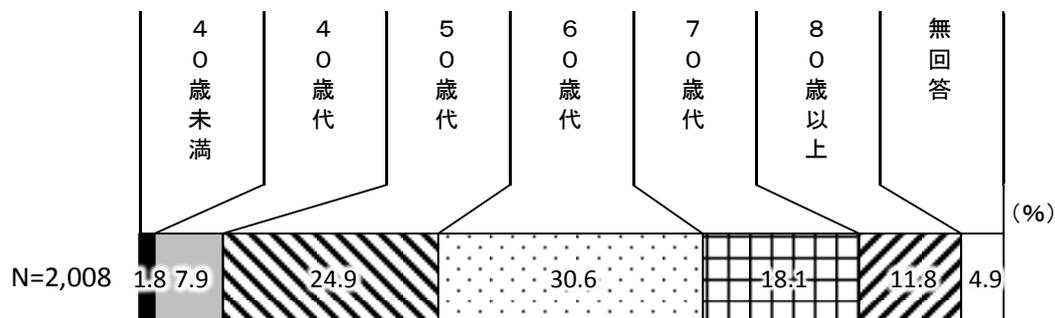


(4) 介護者の年齢

介護者

問 60 年 齢

○介護者の年齢は、「60歳代」(30.6%)が最も多く、次いで「50歳代」(24.9%)、「70歳代」(18.1%)となっている。なお、60歳以上が全体の約6割を占めている。

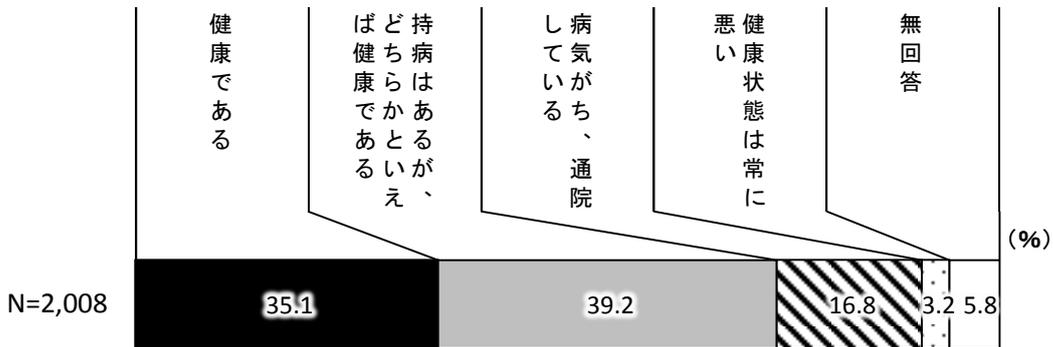


(5) 介護者の健康状態

介護者

問 60 健康状態

○介護者の健康状態は、「持病はあるが、どちらかといえば健康である」が39.2%で最も多く、次いで「健康である」(35.1%)となっており、合わせて全体の7割を超えている。一方、「病気がち、通院している」が16.8%、「健康状態は常に悪い」が3.2%となっており、合わせて全体の2割を占めている。

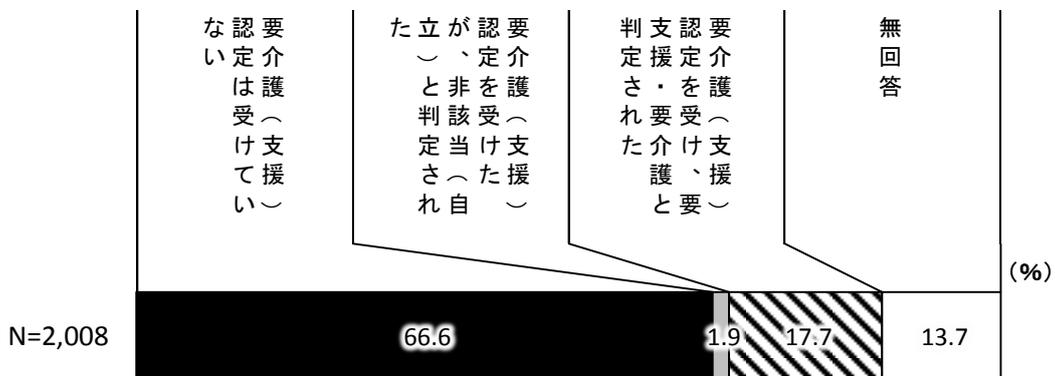


(6) 介護者の要介護等認定の状況

介護者

問 60 要介護認定

○介護者の要介護等認定の状況は、「要介護（支援）認定は受けていない」(66.6%)が最も多く、「要介護（支援）認定を受け、要支援・要介護と判定された」は17.7%である。

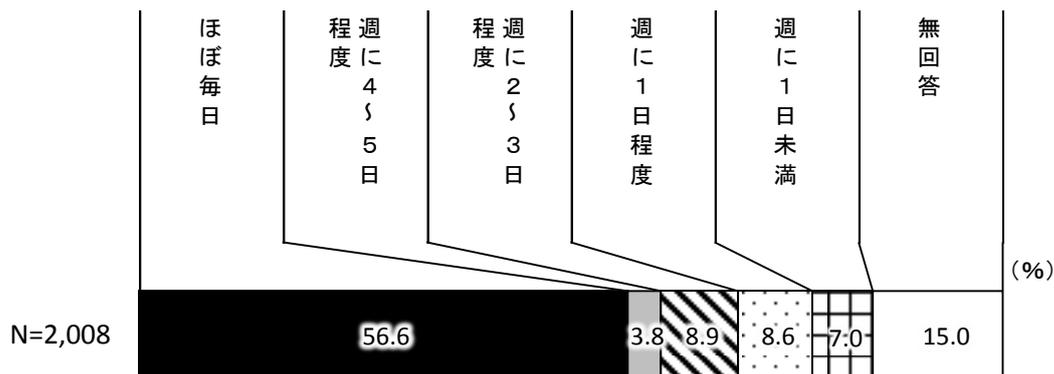


(7) 週あたりの介護日数

介護者

問 61 介護者の方は、どのくらいの頻度で介護を行っていますか。
(1) 1週間のうち何日くらい介護を行っていますか。(あてはまるもの1つに○)

○週あたりの介護日数は、「ほぼ毎日」が56.6%で最も多くなっている。

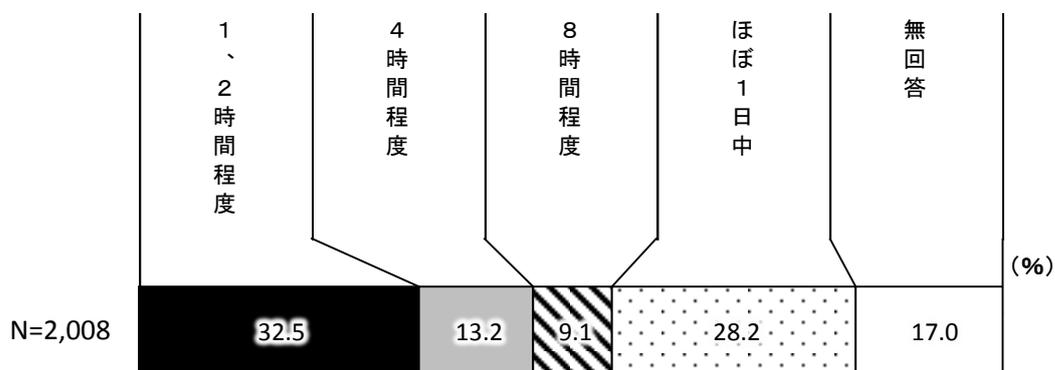


(8) 1日平均の介護時間

介護者

問 61 (2) 1日平均どのくらいの時間介護を行っていますか。(付き添いや見守りの時間も含まれます。)(あてはまるもの1つに○)

○1日平均の介護時間は、「1、2時間程度」が32.5%で最も多く、次いで「ほぼ1日中」が28.2%となっている。

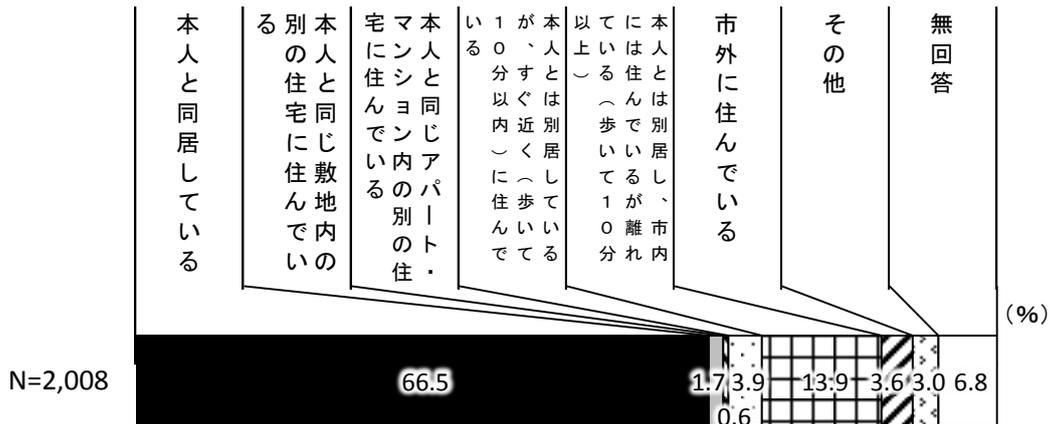


(9) 介護者の居住地

介護者

問 62 介護者の方はどちらにお住まいですか。(あてはまるもの1つに〇)

○介護者の居住地は、「本人と同居している」が 66.5%で最も多く、同居、別居を問わず市内に居住している割合は8割を超えている。

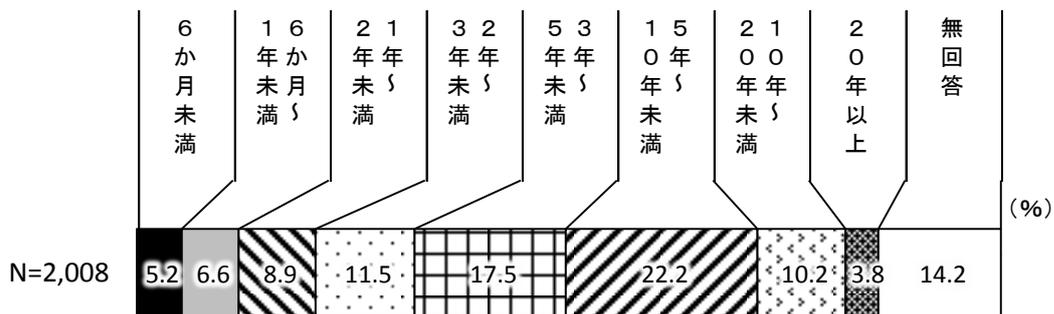


(10) 介護の期間

介護者

問 63 介護者の方は、どのくらいの期間ご本人を介護していますか。(あてはまるもの1つに〇)

○介護の期間は「5年～10年未満」(22.2%)が最も多く、次いで「3年～5年未満」(17.5%)、「2年～3年未満」(11.5%)となっている。

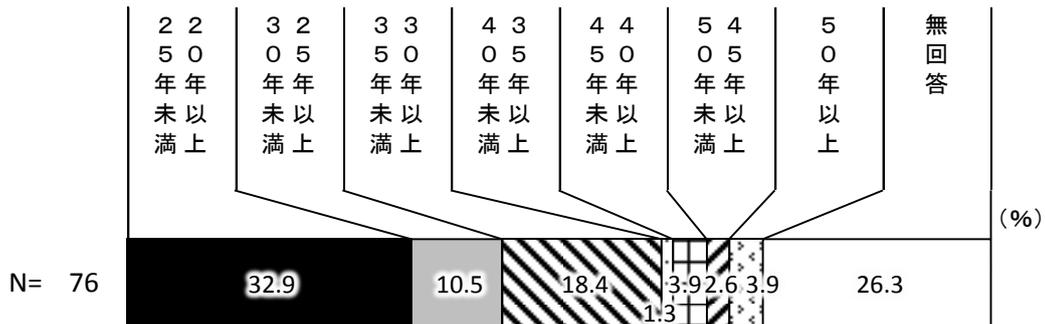


(11) 介護の期間（「20年以上」の場合の年数）

【問63で「20年以上」と回答した方のみ回答】

年数をお書きください 約 _____ 年

○介護の期間で「20年以上」と回答した方に、具体的な年数をたずねたところ、「20年以上25年未満」（32.9%）が最も多く、次いで「30年以上35年未満」（18.4%）となっている。



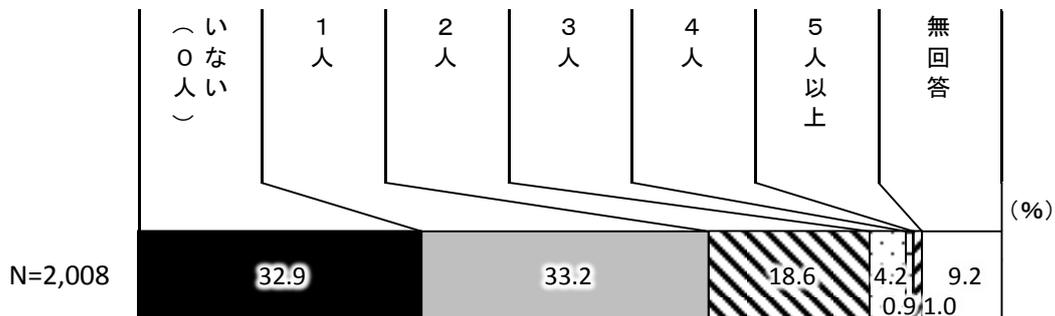
(12) 介護者以外に介護を手伝ってくれる人数

介護者

問64 介護者以外の方で、ご本人の介護を手伝ってくれる方は何人いますか。

(あてはまるもの1つに〇)

○介護者以外に介護を手伝ってくれる人数は、「1人」（33.2%）が最も多く、次いで「いない（0人）」（32.9%）、「2人」（18.6%）となっている。

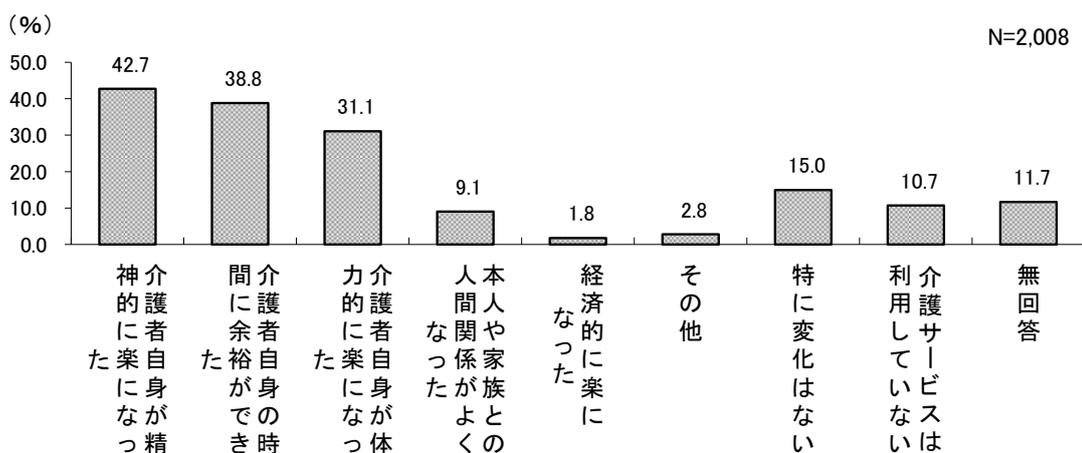


(13) 介護サービスを利用してよくなった点【複数回答】

介護者

問 65 介護サービスを利用して、利用する前に比べてよくなったと思われる点は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

○介護サービスを利用して、利用する前に比べてよくなった点は、「介護者自身が精神的に楽になった」(42.7%) が最も多く、次いで「介護者自身の時間に余裕ができた」(38.8%)、「介護者自身が体力的に楽になった」(31.1%) となっている。



(14) 介護をするうえで困った点・不満な点【複数回答】

介護者

問 66 介護者の方が、介護をするうえで困ったり不満に思ったりしていることは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

○介護をするうえで困ったり不満に思ったりしていることは、「介護がいつまで続くのか不安になる」(44.2%) が最も多く、次いで「自分の時間がとれない」(29.9%)、「自分が本人にやさしく接することができない時がある」(29.3%) となっている。

